

# 宮城県柔道整復師会報

## CONTENTS

副会長挨拶	副会長 松元 浩二	1
総会報告		
・平成25年度第2回臨時総会		2
・平成26年度定時総会		4
・平成26年度宮城県柔道整復師任意組合通常総会		6
学術関係報告		
・第6回宮城県「柔道整復学」構築学会		8
・救急救命講習会報告		13
・平成26年度みやぎ柔整スクール		14
・柔道整復師の皆様に知りたい関節リウマチの最新治療 講演会		17
文部科学大臣杯争奪		
第23回日整全国少年柔道大会予選宮城県大会・平成26年度宮城県少年柔道大会		20
仙台市委託事業「元気応援教室」		23
東北ブロック会関係 速報		
・公益社団法人日本柔道整復師会 第35回東北学術大会岩手大会 速報		24
・東北ブロック会柔道大会結果速報		26
第35回東北ブロック会柔道大会		
第22回東北少年柔道大会		
第3回東北ブロック会少年柔道形競技会		
平成26年度SVM地域代表者会議		28
トピックス		29
新入会員紹介		36
訃 報		40
SVM活動報告 (H25.12～H26.6)		41
会務報告 (H25.12～H26.6)		42
宮城県「柔道整復学」構築学会 賛助会員		44
宮城県「柔道整復学」構築学会 投稿・発表規定		53
編集後記		56

# 副会長挨拶

## ご挨拶

公益社団法人 宮城県柔道整復師会 副会長

松元浩二



当会は、国の公益法人制度改革とともにない公益社団法人として、平成二十四年十一月二十八日に許認可をうけ、平成二十五年四月一日から公益社団法人宮城県柔道整復師会として新たなスタートを切り、早くも一年が経過いたしました。それと同時に発足した櫻田裕会長を筆頭とした現執行部体制も二年目に入り、会長指針である「柔道整復師の存続と療養費（受領委任制度）

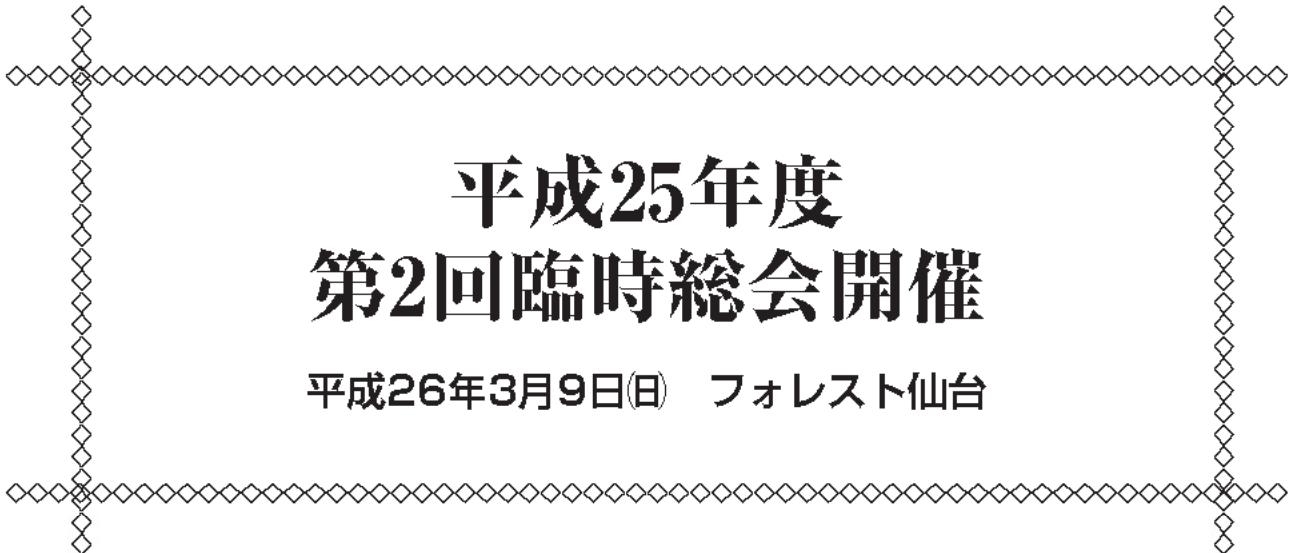
の堅持」「次世代・次々世代の育成」「事務局体制の整備・強化」を遂行すべく、執行部一同協力して精力的に業務に取り組んでおります。

その中で当会の公益事業（不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与する事業）のひとつである第六回宮城県「柔道整復学」構築学会（柔道整復師の原点をみつめて）が六月二十一日（土）から六月二十二日（日）の一泊二日の日程で開催されました。多くの一般市・県民、学生、準会員、会員の方々の参加をいただき成功裏に終了することができました。この学会は、素晴らしい伝統医療である柔道整復術が広く市・県民の医療の充実に寄与することを目的に、柔整スクールから発展形として開催されるようになつたものです。また、会員にとつても、共に学び、切磋琢磨しながら団結力を高める絶好の機会となつております。

現在、療養費の取扱いにおきましては、「療養費の適正な運用」のもと大変厳しい

状況下であります。しかし歴史を鑑みると、明治十四年漢方医学等東洋医学の廃止公布（医疗行為に対し医師免許が必要）、明治十八年内務省通達接骨営業取締方による接骨業絶滅状態となる。明治四十五年柔道家による接骨業公認（整骨術復活）運動開始、昭和十一年内務省によつて柔道整復師の健康保険取扱い認可。このように長い時間を要して復活を果たした柔道整復術、それを成し遂げた柔道整復師は、広く国民から支持されてきた技術の継承者であります。このような困難をのり越えてきた柔道整復師の歴史背景からすると、現在の「療養費の適正な運用」に基づく様々な変更は、療養費の取扱いに対する法律とその実施の整合性を求めているものであり、また国の財政状況ともあいまつて、それほど大きな変更がなされている訳ではありません。柔道整復術、また療養費制度を後世に残すためにも、広く国民に信頼される療養費の運用を中心挾けて、柔道整復師の原点に立ち返り業務を遂行することが、柔道整復術の継承に繋がるものと思つています。これらを含めて会員が安心して業務に専念できる環境を作ることで、柔道整復術の継承に邁進してまいりますので、折に触れご指導、ご鞭撻の程をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

末筆ながら、会員の皆様並びにご家族の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



# 平成25年度 第2回臨時総会開催

平成26年3月9日(日) フォレスト仙台



公益社団法人 宮城県柔道整復師会  
櫻田 裕 会長 挨拶

平成二十六年三月九日(日)、フォレスト仙台において、平成二十五年度 第二回臨時総会が開催されました。 総会は、千葉昌彦理事の司会進行 の下、松元浩二副会長より開会が宣言されました。

## 会長挨拶要旨

東日本大震災から三年が経ちました。本当に大変な三年間でした。当

年四月一日から公益法人会計を執行、本日は予算関連の総会にあたり、平成二十六年度事業計画・予算についてご審議いただきたい。

公益法人は、監督官庁でも微妙な解釈の違いがあり、都道府県によっても違いがあるのが現状です。変更等に対応しながら、弾力的に執行部一丸となり進めていきます。

今年度は、平成二十四年の療養費改定が一年延期となり、平成二十五年に行なわれたため、二年連続での療養費改定が実施されます。

昨年五月の就任時に会長指針を掲げましたが、会長としてやるべきことは、柔道整復師および制度の存続継承をはかることです。また、次世代・次々世代を見据えた人材育成を目指していきます。

本日はしっかりと審議をしていただき、平成二十六年度を順調な滑り出しにしてゆきたいと思います。

## 「賛成多数により原案通り可決」

議長に佐々木裕忠会員、副議長に

中島正彦会員が選任され、議長より

出席状況の確認が行われました。

総会員三七八名中、出席一七一名、委任状一六八名、計三三九名で、正会員の過半数を上回る出席により総会成立の宣言がありました。続いて、

議事録署名人は、議長及び出席理事とし、議事に入りました。

日整ボランティア活動優良会員  
木村 清徳 会員  
高橋 清次 会員  
(総務部)



## 日整表彰

総会に先立ち、公益社団法人日本柔道整復師会平成二十四年度生涯学習認定会員証の交付とボランティア活動優良会員表彰状の授与が行われました。

公益社団法人日本柔道整復師会  
平成二十四年度生涯学習認定会員

木村 清徳 会員  
高橋 清次 会員  
高橋 喜則 会員  
高橋 浩二 会員  
松元 久野 貴史 会員  
松元 浩二 会員



平成24年度公益社団法人日本柔道整復師会生涯学習認定会員  
(左から) 高橋喜則会員、松元浩二会員、櫻田裕会長、久野貴史会員、高橋清人会員



# 平成26年度 定期総会開催

平成26年5月18日(日)

フォレスト仙台

## 会長挨拶要旨

早いもので、昨年五月十二日に新執行部となつてから一年を迎えることになりました。この一年間、若さゆえの至らないところもあつたと思いますが、会長指針として療養費の堅持、次世代・次々世代の育成、事務局体制の強化を掲げた中で一生懸命に取り組んでおります。十二月の理事会において、執行部内の役割分担を有機的に経験・勉強していただくことを目的として、これまでの部長一名体制を正・副部長制にしました。また、今年度、保険部員も新人

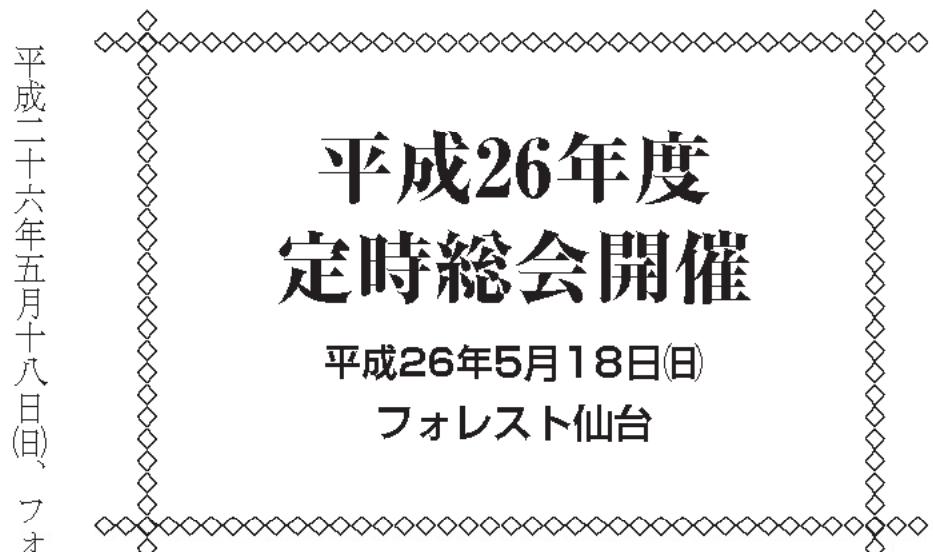
を登用しました。多くの知識と経験を身につけてもらい、将来の保険や学術部長として期待しています。さらに、モニター部員制度は、私の考える次世代・次々世代のトレーニングという考え方での事業です。三十代、四十年代の先生方、ぜひとも手をあげていただき、会執行に興味を持ち、柔整存続のために力をつけて、五年、十年後に活躍していただきたいと期待しています。

昨年の六月三十日には、日整の執行部体制も一新されました。工藤鉄男先生の日整会長就任にともない、全ての理事が変更。当会の豊嶋良一名誉会長が日整の総務担当理事に抜擢され、日々精力的に活躍されます。

課題山積の昨今、柔整は保守的といわれていますが保守の保守たるところとして、櫻井よしこ氏の言葉に私の好きなものがあります。

「保守とは守るために戦い、守るために変わる」

この難局を乗り越えられるような



平成二十六年五月十八日(日) フォ

レスト仙台において、平成二十六年  
度定期総会が開催されました。

総会に先立ち、若井晃理事の司会  
進行により、物故会員の冥福を祈る  
黙祷が捧げられました。  
その後、松元浩二副会長の開会宣  
言により総会が開始されました。



公益社団法人 宮城県柔道整復師会  
櫻田 裕 会長 挨拶

議長に佐々木裕忠会員が選出され、議事録署名人は、議長及び出席理事が選出されました。

中島議長より出席状況の確認が行われ、総会員三七九名中、出席一八七名、委任状一六六名、計三五三名で、正会員の過半数を上回る出席により総会の成立が宣言され、議事に入りました。



力をつけて変わっていきたいと思います。

本日は決算関連の総会となるのでよろしく審議をお願いいたします。

#### 〔原案通り可決承認〕

議事の前に、宮城県議会顧問議員団一同さまからの祝電披露、新入会員の紹介が行われました。

その後、議長に中島正彦会員、副

(総務部)

- 第一号議案  
平成二十五年度事業報告について
- 第二号議案  
平成二十五年度収入・支出決算報告について
- 第三号議案  
監査報告について

各議案ともに、賛成が大多数により可決承認されました。一切の議事が終了し、最後に日時誠副会長による閉会の辞で平成二十六年度定時総会は滞りなく閉会となりました。



新入会員紹介

# 平成26年度 宮城県柔道整復師任意組合 通常総会

平成26年5月18日(日) フォレスト仙台

平成二十六年五月十八日(日)、フォレスト仙台において、平成二十六年度宮城県柔道整復師任意組合通常総会が、平成二十六年度定時総会後に開催されました。

総会は松元浩二副理事長により開会され、続いて、挨拶で櫻田裕理事長は、任意組合の役割についての説明を行いました。

議事に入る前に、永年在籍表彰が行われ、六名の会員が表彰されました。その後、通常総会の議長には、中島正彦会員が選任されました。

中島議長は、出席状況を確認し、規約により総会成立を宣言。議事録署名人は、議長及び出席理事とし、議事に入りました。

## 第一号議案

平成二十五年度事業報告について

## 第二号議案

平成二十五年度収入・支出決算書

## 第三号議案

監査報告について

## 第四号議案

規約の一部改正について

## 第五号議案



平成26年度宮城県柔道整復師任意組合通常総会

平成二十六年度事業計画（案）について

第六号議案

平成二十六年度収支予算（案）について

議事については、第一号議案から第六号議案まですべて承認可決いたしました。

最後に、日時誠副理事長が閉会の辞を述べ、任意組合通常総会を終了いたしました。

永年在籍会員表彰

宮城県柔道整復師任意組合規約  
第二章第七条第二項による表彰。

三十年在籍

（昭和五十八年・一九八三年入会）  
遠藤 吉一 会員

二十年在籍

（平成五年・一九九三年入会）

木村 忠行 会員  
藤井 裕文 会員  
稻辺 祐幸 会員  
秋山 信行 会員  
故阿部 一茂 会員

（総務部）



永年在籍会員表彰 二十年在籍表彰者  
(左から) 秋山信行会員、稲辺祐幸会員、櫻田裕理事長、藤井裕文会員、木村忠行会員

暮

集

—意見・提言・趣味—

—考え方、思いつき、感想、提案、会員生の声—

あなたのご意見をお聞かせください。

- 意見を出さず、体制に追随してはいませんか。
- 意見を言わず、諦めてはいませんか。宮城県柔道整復師会は、あなたの社団です。
- 誰かがやるだろう、誰かが切り開いてくれると思っていませんか。
- 一人の意見が、大きな舵取りになることもあります。  
あなたは、(公社)宮城県柔道整復師会の会員です。
- どんなことでも結構です、あなたの意見、希望、疑問、情報、なんでもお知らせください。

○投稿 ○電話 ○FAX ○インタビューにうかがいます。

どんな方法でも結構です、一步前へ！

# 第6回 宮城県「柔道整復学」構築学会 ～柔道整復師の原点をみつめて～

平成26年6月21日(土)・22(日) 茂庭荘



「柔道整復学」の構築へ熱意あふれる  
櫻田 裕 会長 挨拶

近年、医療環境は大変厳しい状況にあり、柔道整復業界においても先行きが懸念されているのが実情です。この学会は、「柔道整復学」を構築して盤石な土台を築きあげることにより、このような困難な環境を改善、克服してより良い状況へと推進してゆくために、平成十七年に誕生し、今年で八回目の開催（本学会五

平成二十六年六月二十一日(土)、二十二日(日)の両日にわたり茂庭荘（仙台市太白区）において、第六回宮城県「柔道整復学」構築学会が開催されました。



第6回宮城県「柔道整復学」構築学会 開会式

回、ミニ学会三回）となりました。今回は、これまでのミニ学会の内容が充実して、本学会と遜色のないものとなつたことをうけて、ミニ学会の発展的な学会として第六回の開催となりました。

～柔道整復師の原点をみつめて～



～柔道整復師の原点をみつめで～  
大変興味深い発表が盛りだくさんでした

をテーマに掲げ開催された今学会は、櫻田裕会長の学の構築に対しての力強い挨拶に始まり、贊助会員プレゼンテーション、公認私的研究会発表、一般会員発表、宮城県「柔道整復学」構築研究委員会報告など、柔道整復学の構築に必要な研究活動と検証報告が目白押しとなりました。また、多忙にもかかわらず、特別講演をお引き受けくださいました山口登一郎先生、白木原憲明先生には、すぐにも臨床に活かせる貴重なご講演をいただきました。

## 特 別 講 演



(公社) 日本柔道整復師会 学術参与  
山口 登一郎 先生

○(公社)日本柔道整復師会  
学術参与 山口 登一郎 先生  
「柔整手技療法について  
—基礎と応用—」

○白木原クリニック  
院長 白木原 憲明 先生  
「腰痛のピットフォール」



白木原クリニック院長  
白木原 憲明 先生

## (公社) 日本柔道整復師会 公認私的研究会

○岩佐接骨院勉強会  
太田 功紀 先生

「右第5趾末節骨骨折の症例報告」



岩佐接骨院勉強会  
太田 功紀 先生



医療法人洞口会 整骨・鍼灸医学研究会  
嶋田 総 先生

○医療法人洞口会 整骨・鍼灸医学  
研究会 嶋田 総 先生

「宮城県内の柔道整復師養成学校  
に通学する学生の意識調査につい  
て」現在の学生が柔道整復師に求  
めているものと在学中の整骨院研  
修(インターーン)の是非について」

○医療法人洞口会 整骨・鍼灸医学  
研究会 鈴木 洋介 先生

「身体的特徴とスポーツ障害発生  
要因に関する一考察」



医療法人洞口会 整骨・鍼灸医学研究会  
鈴木 洋介 先生

○保険・部分医療・福祉サービス研  
究会 中川 裕章 先生  
「地域包括ケアシステムにおける  
ケアの在り方・住まいの在り方  
～柔道整復師の機能分化について～」



(公社) 宮城県柔道整復師会会員  
櫻本 和夫 先生

○(公社)宮城県柔道整復師会会員  
櫻本 和夫 先生  
「見逃されやすい骨折の一症例へ  
の超音波的接近」

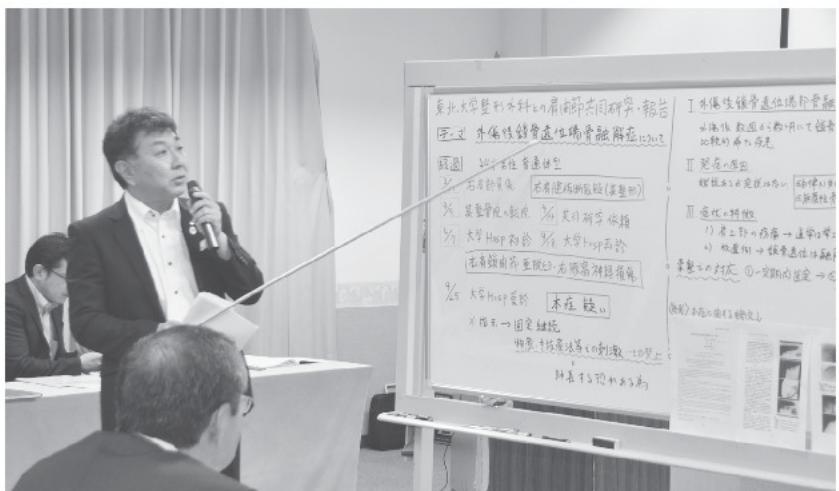
### 一般会員研究発表



保険・部分医療・福祉サービス研究会  
中川 裕章 先生

## 東北大整形外科との 肩関節共同研究活動報告

○発表者 目時 誠 副会長



東北大整形外科との共同研究活動報告  
目時 誠 副会長

## 宮城県「柔道整復学」 構築研究委員会 報告

—座長 佐藤 捷 先生（宮城県「柔道整復学」構築研究委員会顧問）—



宮城県「柔道整復学」構築学会名誉会長  
医学博士 佐藤 捷 先生



宮城県「柔道整復学」構築研究委員会  
田村 博 委員

○早坂 健 委員  
「柔道整復師が行う損傷のタイプ  
による治療方法の検討」(2)



宮城県「柔道整復学」構築研究委員会  
早坂 健 委員

○岩佐 和之 委員長  
「膝関節、急性期、亜急性期における罨法（寒冷、温熱）の適応についての考察」



宮城県「柔道整復学」構築研究委員会  
岩佐 和之 委員長

## 賛助会員 プレゼンテーション

- 株式会社パールシャープ仙台  
「フィジオプラス製商品説明」
- 日本プロジェクト株式会社  
「C コンククエン酸成分について」
- 株式会社カナケン  
「低周波治療器について」
- 株式会社グローバー  
「NEOテクトロン、ライズトロ  
ンの器械紹介」
- 株式会社OAシステムシャープ  
「保険請求システム」
- ミナト医科学株式会社  
「ポラリスカイネ紹介」
- 株式会社エス・エス・ビー  
「超音波画像」

## 救急救命講習会

主催：（公社）宮城県柔道整復師会・

宮城県柔道連盟

講師：日本赤十字社宮城県支部 救急法指導員

（学術部長 若井 晃）

大変有意義な講演、貴重な研究成果を発表していただいた先生方は、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

また、「会員の絆作りの架け橋」のコンセプトのもと懇親会も開催され、和やかに楽しく会員相互のコミュニケーションを深めることができます。またことを重ねて報告いたします。

二日間で延べ三〇〇名に及ぶご参加をいただき、盛会の内に学会を終えることができました。来年は第七回 宮城県「柔道整復学」構築学会を、仙台国際センターにて開催する予定です。開催日に関しては、決まりしだいご連絡いたします。会員の皆様にとって、より充実した魅力的な内容を検討しています。ぜひご参加のほどよろしくお願ひいたします。



特別講演II 白木原クリニック 院長  
白木原 憲明先生（左）と松元 浩二副会長



特別講演I （公社）日本柔道整復師会 学術参与  
山口 登一郎先生（左）と櫻田 裕会長

茂庭荘において、日本赤十字社宮城県支部から三名の講師をお招きして、救急救命講習会を開催いたしました。講習会には三十名が参加し、様々なケースを想定した講師の方のお話に、真剣に耳を傾けました。

また、心臓マッサージ、人工呼吸、AEDの技術を学び、参加者一人一人が、熱心に実技に取り組みました。最後に行われた質疑応答では、参加者から実践を仮定した質問が多く出され、今回の救急救命講習会も実

平成二十六年六月二十二日（日）

## 救急救命講習会 開催報告

平成26年6月22日(日)

茂庭荘

りの多い講習会となりました。  
毎年開催している講習会ですが、AEDや人工呼吸、心臓マッサージ等の内容は、どんどん更新されて変わっていますので、以前、受講された先生方も復習をかねて、再度スタッフや従業員の方と一緒に受講されることをお勧めいたします。

（事業部長 佐々木俊夫）



救急救命講習会講義風景



熱心に技術取得に励む受講者の方々



# 平成26年度 みやぎ柔整スクール開催



平成26年度みやぎ柔整スクール開校式  
櫻田 裕 会長 挨拶

宮城県柔道整復師会新会館にて、「平成二十六年度 みやぎ柔整スクール」が開校となりました。開校にあたり櫻田会長から、医療人としての資質の研鑽を怠ることなきよう、スクールを大いに活用して、積極的に参加して欲しいとの言葉をいただきました。

続いて亀井校長から、柔整スクールがスタートした時の思いとして、「爆発的な過当競争の中で、社会的ニーズに応えうる真の柔道整復師の養成が急務であり、生涯学習の一環



平成26年度みやぎ柔整スクール開校式

として開校した」ことが伝えられました。また、スクールを受講することにより、「信頼される柔道整復師」であるとともに「成熟した人」であることを目指して欲しい、と期待を寄せられました。

○平成二十六年四月十九日(土)

I. (必修基礎講座)

「医療人が知るべき大切なことⅠ」  
→医接連携を中心につ

亀井 啓 先生

(みやぎ柔整スクール 校長)



みやぎ柔整スクール校長  
亀井 啓 先生

○平成二十六年五月十日(土)

II. (教養講座)

ホスピタリティー →すぐにでも  
実践できるビジネスマナー→

杉浦 永子 先生

(第一印象研究所 所長)



みやぎ柔整スクール顧問  
柴田 仁市郎 先生

○平成二十六年五月二十四日(土)

III. (必修基礎講座)

「医療人が知るべき大切なことⅡ」  
→柔道整復の歴史を中心につ

柴田 仁市郎 先生

(みやぎ柔整スクール 顧問)



第一印象研究所 所長  
杉浦 永子 先生

○平成二十六年六月二十八日(土)

IV. (介護関連講座)

「柔道整復師の介護保険における  
サービスとは」→地域包括ケアシ  
ステムを生き抜くために→

中川 裕章 先生

(介護企画推進室 室員)



介護企画推進室 室員  
中川 裕章 先生

七月以降も、保険関連講座、経営  
関連講座、学術関連講座、介護事業  
参入講座などを企画しています。詳  
しい日程や詳細内容は、決定次第連  
絡します。

## みやぎ柔整スクール 今後の予定（八月以降）



みやぎ柔整スクール担当  
若井 晃 学術部長

みやぎ柔整スクールの運営理念は、多彩な内容の講座を、それぞれの分野に精通している講師に依頼して、会員の皆様に効率的に学んでもらいたい、ということを念頭に運営しています。独力で学ぶことは、いろいろな制限を受けて大変な負担と考えます。さらには、みやぎ柔整スクールを院内のスタッフ研修として活用していただければより有用です。皆様のご参加を心よりお待ちしています。

（学術部長 若井 晃）



みやぎ柔整スクール 講義風景

八月一日（土）

経営関連講座

九月六日（土）

必修講座

「医療人が知るべき大切なことⅢ」

十月二十五日（土）

学術関連講座

十一月八日（土）

学術講座・専門基礎分野

十二月十三日（土）

介護保険サービスについて

※七月三十一日現在の予定となります。詳しい内容や日程変更などは、随時ご連絡いたします。

# 柔道整復師の皆様に知っていただきたい 関節リウマチの最新治療

～アッヴィ合同会社 エーザイ株式会社共催 講演会～

講師 宗像 靖彦 院長 宗像 靖彦 先生



特別講演講師 宗像 靖彦 先生

## 宗像 靖彦先生 プロフィール

昭和六十三年 東北大学医学部卒業  
平成二年 同大学院医学系研究科

平成八年 第2内科入局  
米国ハーバードメディカルスクール留学

平成十六年 平成十七年 東北大学医学部付属病院  
血液免疫科院内講師

平成二十五年 病院理事長  
仙台市に宗像靖彦クリニック開業  
医療法人美瑛 太白さくら

リウマチ・膠原病・慢性疼痛を中心に診療に携わる

平成二十六年六月二十九日(日)、午後二時から、エルパーク仙台五階セミナーホールにて、アッヴィ合同会社・エーザイ株式会社との共催で、宗像靖彦先生による講演会が開催されました。当日は大雨警報が発令され、時折、激しい雷雨となるような悪天候の中、四十一名が参加しました。「リウマチと疼痛の治療について／理想的な治療環境の構築」をテーマとした講演内容で、参加者はリラックスした中で熱心に聴講していました。



公益社団法人 宮城県柔道整復師会  
櫻田 裕 会長 挨拶

## 講演要旨

### ○共通するテーマは痛み

今回の講演会開催の背景は、日常生活において痛みの治療の限界を感じていることです。クリニックでは、痛みを訴えてくる患者に対してもEBMによる治療手段を講じていきますが、エビデンスのない痛みに対しては治療ができません。現在、リウマチの治療というのはかなり発展しておりますが、完治できるレベルくらいまでの治療手段がありますが、その治療手段を講じても解決できない問題が痛みです。我々の究極の目的は痛みを取り除いて患者を苦痛から解放することなので、医師も柔道整復師（以下、柔整師）も共通の接点があります。その接点を今回認識し、患者の病態に対する守備範囲をお互い理解して、患者の健康維持と推進のために連携していくないと考えています。

化学的な炎症反応を伴わないような痛みに対して、我々医師は取り除く知識も手段も持っていないところで限界を感じていますが、柔整師は「手当て」という治療手段があります。我々医師が得意とする即物的な治療と、柔整師が得意とする「手当て」を伴うような治療は、これから共にやつていく必要があると考えていますので、柔整師の皆さんにご協力を願いしたいと思います。

### ○侵害受容性疼痛と神経障害性疼痛

リウマチの炎症性疼痛の場合、発症してCRPが高い時は侵害受容性疼痛に位置付けられます。炎症が残り、長期化すると神経障害性疼痛に移行します。こうなってしまふと鎮痛薬が効かなくなりますが、こういったケースが非常に多いといふことがわかつきました。神経障害性疼痛はなかなか良くならないため、長期になればなるほど心因性疼痛という要素も関与してきて難治化してきます。こうなると薬物療法による客観的な疼痛改善はほぼ不可能となります。この慢性疼痛としつかり向き合つていかないと患者の苦痛は取り除けませんが、医師の技術レベルでは一〇〇%取り除ける分野で

は「手当て」という治療手段があります。我々医師が得意とする即物的な治療と、柔整師が得意とする「手当て」を伴うような治療は、これから共にやつていく必要があると考えていますので、柔整師の皆さんにご協力を願いしたいと思います。

### ○リウマチ治療のキーワードは発症早期

発症して一年までの間に骨の破壊が最も早く進むことがわかっています。この段階で治療に介入することによって、現在、リウマチをほぼ根治できるレベルの治疗方法を我々は持っていますので、患者は最新の医療技術の恩恵に与ることができます。そのためには進行が最も早い発症二年以内に診断・治療することが必須条件となります。クリニックに来院したリウマチ患者のうち、発症初期に接骨院を受診した方が結構多いので、柔整師にとつても早期のリウマチ患者を見逃さないようにすることが大事です。また、リウマチの診断基準が改定され認定条件が緩和されました。一方、発症早期のリウマチ患者を早く見つけることは学会レベルでも主流となっています。

一方、発症して十年以上経過した節が変形してしまった患者に対する治療はなくなっています。そこで柔整師の皆さんの技術を生かすことによって患者の満足度が上がることを期待しています。

有効な治療手段はなく、対症療法となります。関節の変形が完成してしまいます。

そこで、そこから先は炎症が出てきません（burn-out）が、それでも痛みがある患者は、柔整師の先生に施術してもらうことによって緩和を図ることが期待されます。

## ○医療の中での垣根を越えて得意分野を生かす

昨年一月にクリニックを開業して、現在の患者数は約二〇〇〇人ですが、そのうちリウマチの患者も含めて約一〇〇〇人が慢性疼痛であり、この患者を柔整師の皆さんと連携して診ていくことができればと考えています。我々医師が得意な分野は即物的な部分ですが、リウマチでいえば発症早期の患者については柔整師が診れるよりも我々の方が患者の利益になれるでしょう。一方、慢性疼痛になつてきた場合には柔整師の先生方にお願いして力を借りた方が良いでしょう。今後、疼痛治療の得意分野を生かしつつお互いの診療リスクを軽減して、より良い治療環境を築くためコラボレーションできる機会を望んでいます。



○これから保険医療制度について

現在の日本の保険医療制度は、人口構成によってかなり歪になつており、将来、崩壊する危険性が指摘されています。また、TPP後には混合診療の解禁も想定されていますが、混合診療に対応するためには得意分野に特化していくことがポイントとなり、得意分野で診療して収益を上げるべき時代になつたと思っています。

ひとりの患者を効率よく診ていく仕組みを今から作っていく必要があると強く思っていますので、これをきっかけにして患者をお互いに紹介する形になればいいと思います。ついで宗像先生から大変わかりやすい解説があり、よく理解できました。ディスカッションでも活発に質疑応答・意見交換が行われ、今後の医連携にも期待できる大変有意義な講演会となりました。また、講演終了後の名刺交換会では、ビジネスの場として貴重な交流の機会を持つことができました。

（広報部 佐藤 浩一）



## 文部科学大臣杯争奪

# 第23回日整全国少年柔道大会予選宮城県大会 平成26年度 宮城県少年柔道大会

平成26年4月27日(日) 女川町総合体育館



平成26年度宮城県少年柔道大会 櫻田 裕 会長 挨拶

平成二十六年四月二十七日(日)、女川町総合体育館にて標記大会が開催されました。

当日は天候に恵まれ、体育館内の気温も上昇した中で、小・中学生の白熱した試合が行われました。

この大会は団体戦で行われ、小学生は五人制、中学生は三人制となります。チームワークの善し悪しが勝敗の鍵となるため、各出場チームの選手、保護者がひとつになり、会場が大変盛り上がりました。



開会式



選手宣誓

## 試合結果

### 小学生の部（団体五人制）

優 勝	北岡道場A
準優勝	志栄會凌門塾A
第三位	石巻みなど柔道会
第三位	氣仙沼柔道
	スポーツ少年団A
	石巻みなど柔道会A
	山元町柔道
	スポーツ少年団A
	白石三省塾柔道
	スポーツ少年団A
	七郷柔道愛好会

「第二十二回日整全国少年柔道大会」へ宮城県代表として出場する選手が選抜されました。

### 宮城県選抜代表選手

大将	尾崎文耶
副将	佐々木未羽 (志栄會凌門塾)
中堅	吉田陽春 (気仙沼柔道スポーツ少年団)
次鋒	今野太陽 (石巻みなど柔道会)
先鋒	北岡心颯 (北岡道場)

最後になりましたが、前日からの会場準備や当日の受付、お弁当配布、記録や大会進行・運営、撤収作業に至るまでご協力いただいた子供たちや保護者の方々、女川町職員、当会員の先生方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

委員長 佐藤 昭彦  
委員長 佐藤 昭彦

第3回東北ブロック会少年柔道形競技会宮城県代表者



取 坂本 萌 受 丹野 康世  
(大崎柔道クラブ)



取 佐藤 春菜 受 斎藤 大誠  
(柳柔会牛木道場)



第23回日整全国少年柔道大会 宮城県選抜チーム

## 白熱する試合風景



## 素晴らしい技の攻防



# 仙台市「元気応援教室」新会館にて開催

「元気応援教室」は、仙台市が実施している介護予防事業（仙台市通所介護予防事業）です。要介護、要支援に移行する恐れのある対象者に対して実施する介護予防事業の一つです。宮城県柔道整復師会は、仙台市の委託を受けて、平成二十四年度から教室を開催しています。

平成二十六年度仙台市「元気応援教室」第一クール（五月～七月）は、新しい宮城県柔道整復師会館三階大会议室に会場を移しての開催となりました。

参加者の中には、運動器疾患や脳血管疾患、神経筋疾患、循環器疾患などの既往がある方も参加しており、リスクを把握した上で運動教室として実施する元気応援教室の内容は、まず、参加者の体力測定（握力、片脚起立時間、Timed up & Go test、5m歩行など）や腰・膝の痛み、主観的健康感（自分自身

の健康に対する感じ方）などを評価して、その評価をもとに参加者の個別計画書を作成します。そして、参加していただいた対象者の目標を個別に設定して、運動機能面のみならず活動や参加の能力向上を図り、本



二〇二五年に向けた地域包括ケアシステムで、私たち柔道整復師ができることは何か。その一つは地域に出向き活動することと考えます。制度の大変革の中で、柔道整復師が介護予防の社会資源として名を連ねるには、仙台市「元気応援教室」での実績は必要不可欠です。平成二十六年度第二クールは九月から開催します。あらためて指導員を募集しますので、この機会に行政事業に参加して介護予防の方法やノウハウを取得してください。会員皆様の参加を心よりお待ちしています。

来の姿を取り戻すこと、または維持することを目的に状態に合わせた運動プログラムを実施します。

平成二十六年七月十三日、いわて

県民情報交流センター アイーナに  
おいて、公益社団法人日本柔道整復

師会第三十五回東北学術大会岩手大

会が開催されました。

この学術大会は、柔道整復術の振  
作高揚と医学的研究及び柔道整復師  
の資質の向上を図り、もって生涯学  
習の一助とするとともに、広く国民  
の健康増進に貢献すること目的と  
しています。

一般公開された特別講演、陸前高  
田市長 戸羽太氏の「陸前高田市の  
今、そして復興へ」の講話に始まり、  
その後、ランチョンセミナー、研究  
発表、実技発表が行われました。

当会からは、研究発表として田村  
博先生、実技発表として岩佐和之先  
生が参加いたしました。

特別講演、各発表ともに出席され  
た方々は熱心に研鑽を積んでいまし  
た。

朝早くからの学術大会でしたが、  
大変興味深い内容が目白押しで、瞬  
く間に閉会式を迎えました。

〔特別講演〕

「陸前高田市の今、そして復興へ」

陸前高田市長 戸羽 太 氏

〔ランチョンセミナー〕  
「2014・柔道整復師と介護保険  
について—生活目標を達成する運動  
とは?—」

(公社) 日本柔道整復師会保険部  
介護対策課 三谷 誉 先生  
藤田 正一 先生

〔研究発表〕

いわゆる“筋硬結”の病態について  
—理学所見と超音波画像診断装置を  
用いての症例観察から—

青森県 新井田一吏 先生  
大腿骨頭すべり症の臨床所見、予後  
についての文献調査及び一症例との  
比較検討

秋田県 佐藤 祐樹 先生  
P—I-P関節脱臼骨折の一例  
—症例報告—

岩手県 佐々木 航 先生  
膝半月板損傷の診断率向上に関する  
文献的考察

山形県 丹 学 先生

## 介護予防二次予防事業による転倒不

### 安と体力評価の関連についての考察

福島県 内藤 良博 先生

### 分類困難な傷病の解釈に関するアン

#### ケート結果と考察

##### 宮城県「柔道整復学」

###### 構築研究委員会

委員 田村 博 先生

委員長 岩佐 和之 先生

委員 早坂 健 先生

研究発表  
田村 博 先生



## 舟状骨骨折の固定法

秋田県 三浦 雅志 先生

### 距脛関節部の不安定性に対する整

#### 復・固定法

岩手県 佐藤 大介 先生

#### 即、その場で痛みを取るキネシオ テープニング法

山形県 奥山 治朗 先生

福島県 太田 賢一郎 先生  
指節関節、軟部組織損傷後に発生  
した瘢痕組織に対する軟質ウレタン  
フォームを用いた圧迫テープニング法

福島県 岩佐 和之 先生



実技発表  
岩佐 和之 先生

## 医療機器展示会

東北学術大会とともに、東北ブ  
ロッック会主催の医療機器展示会も共  
催されました。

以上、第三十五回東北ブロック会  
学術大会岩手大会の速報となりま  
す。

(広報部)



公益社団法人 宮城県柔道整復師会  
(左から) 岩佐和之先生、田村博先生、櫻田裕会長

青森県 谷川 弘 先生

## 実技発表

陳旧性足関節内反捻挫を有する患者  
におけるテーピング法

中華書局

# 第38回厚生労働大臣旗争奪 日整全国柔道大会予選会 第35回東北ブロック会柔道大会

日本柔道整復師会東北ブロック会

## 第22回東北少年柔道大会

第4回日整全国少年柔道形競技会 東北ブロック会予選会

# 第3回東北ブロック会少年柔道形競技会

平成26年7月12日(土) 岩手県営武道館

「第三十八回  
整全国柔道士  
東北ブロツク  
第三十五回  
会柔道大会に  
木村清徳監  
五十歳代で  
四十歳代で  
三十歳代で  
佐藤昭彦会  
戦が繰り広げ  
結果は、  
飯野勝幸会  
員が優勝、上  
道館で開催さ  
柔道大会へ  
ました。

「第三十八回厚生労働大臣  
整全国柔道大会予選会／第  
東北ブロック会柔道大会」  
第三十五回東北ブロック  
会柔道大会には、当会から  
木村清徳監督率いる四名、  
五十歳代で渡部康光会員、  
四十歳代で飯野勝幸会員、  
三十歳代で渡邊利康会員、  
佐藤昭彦会員が出場し、熱  
戦が繰り広げられました。

結果は、渡部康光会員、  
飯野勝幸会員、佐藤昭彦会  
員が優勝、十月十三日に講  
道館で開催される日整全国  
柔道大会への出場が決定し  
ました。

また、昨年に続き、宮城  
県チームは総合優勝となり  
ました。

岩手県が主催となり、平成  
七月十二日(土)、岩手県営武  
いて行されました。

# 「第三十八回厚生労働大臣旗争奪日整全国柔道大会予選会／第三十五回東北ブロック会柔道大会」

本年の東北ブロック会柔道大会は、岩手県が主催となり、平成二十六年七月十二日(土)、岩手県営武道館において行われました。



総合便覧 宮城県手引

(後列左から) 木村清徳監督、渡邊利康会員、櫻田裕会長  
(前列左から) 飯野勝壽会員、渡部康光会員、佐藤昭彦会員

26

が出場しました。

結果は、選手一丸となり善戦しましたが、両チームともに予選リーグ二位、僅差で決勝トーナメント進出を逃しました。

### 「第四回日整全国少年柔道形競技会

### 東北ブロック会予選会／第四回東北

### ブロック会少年柔道形競技会」

第三回東北ブロック会少年柔道形競技会には、坂本萌・丹野康世組（大崎柔道クラブ）、佐藤春菜・齋藤大誠組（柳柔会牛木道場）が宮城県代表として出場しました。

結果は、素晴らしい投げの形（手技・腰技・足技）を演技しましたが、惜しくも入賞を逃しました。

以上、東北ブロック会柔道大会結果速報となります。

（広報部）



佐藤昭彦会員  
切れのある足払い



渡部康光会員  
豪快な大外刈り

第三十八回日整全国柔道大会は、平成二十六年十月十三日（月）体育の日に講道館で開催されます。



飯野勝幸会員の横四方固め  
ガッカリときまっています

皆様の応援を  
よろしくお願ひいたします。

平成二十六年五月十八日（日）、  
フォレスト仙台において、平成二十六年度第一回SVM地域代表者会議を開催いたしました。県内十三地域の代表者が集まり、今後のSVM活動やボランティア活動の在り方、地域での様々な活動について話し合いました。今後は、SVM地域代表者が先頭に立ち、宮城県柔道整復師会として、地域に根ざした公益活動を行っていくことが大切になってきます。まずは地域から様々な活動を通して、当会の会員相互の親睦を通して、当会の会員生の声などを目指して取り組んでいきます。

（事業部長 佐々木俊夫）

## 平成26年度 第1回SVM 地域代表者会議



暮

集

—意見・提言・趣味—

—考え方、思いつき、感想、提案、会員生の声—

あなたのご意見をお聞かせください。

- 意見を出さず、体制に追随してはいませんか。
- 意見を言わず、諦めてはいませんか。宮城県柔道整復師会は、あなたの社団です。
- 誰かがやるだろう、誰かが切り開いてくれると思っていませんか。
- 一人の意見が、大きな舵取りになることもあります。  
あなたは、(公社)宮城県柔道整復師会の会員です。
- どんなことでも結構です、あなたの意見、希望、疑問、情報、なんでもお知らせください。

○投稿 ○電話 ○FAX ○インタビューにうかがいます。

どんな方法でも結構です、一步前へ！

柔整サロン

## 柔整の将来像

医事評論家  
水野 肇 先生に聞く

聞き手 公益社団法人宮城県柔道整復師会会长 櫻田 裕

トピックス

永きにわたり、医療業界のご意見番として、医事問題にさまざまな視点から鋭く切り込まれてきた水野肇先生。柔道整復業界においても、歴史の節目節目で多くのアドバイスを頂戴してきた。今、この混沌とした時代の中で、水野肇先生の目に映る柔整の将来像について、語っていただいた。

櫻田：本日はご多忙の中、お時間を割いていただきありがとうございます。水野先生には、私ども宮城県柔道整復師会が、平成17年に柔道整復師にとって困難な環境を克服、改善し、より良い状況へと推進してゆくことを目指して立ち上げました宮城県柔道整復学構築学会の第1回学会において、特別講演をお願いして以後、学会会長（現在学会名誉顧問）までお引き受けくださいり、折に触れ、ご指導を仰がせていただいて参りました。そのお陰で、今年6月には、第6回の学会を開催することができました。本日は、その延長線上になるのかと存じますが、将来へ向けた柔道整復師像について、歯に衣を着せぬお話を伺うことができました幸いです。

水野先生：振り返ってみると、あれからもう9年になるんですね。その間、宮城県柔道整復学構築学会が順調に発展してきたことは本当に何よりです。また、先の東日本大震災では、皆さん大変な思いをされたわけですが、そのような状況の中でもよく柔道整復師がまとまって、避難された方々への医療救護ボランティアを組織的に展開されたとのこと。この機動力は、被災県民にとって大変頼もしく、ありがとうございましたことと思います。この「团结

力がある」という点は、柔整の大きな強みですよね。選挙のときなどでも、候補者にとっては、医師会よりよっぽど頼りになるのではないかでしょうか。柔整はそれを盾にもっと積極的に政治家にお願い事をしていいと思いますが…。それはさておき、こういった大震災のようなときには、専門的機材を必要とする専門医の場合は役に立ちたくとも立てませんので、まさに総合医と柔道整復師の独壇場といったところでしょう。

櫻田：実際、震災時にはそれぞれ自分自身が大変でしたが、動ける者が動くというところから始めて、震災当日の3月11日から6月26日まで当会会員ならびにそのスタッフが県内各地の避難所に出向き、医療救護活動を展開することができました。こういう活動を通じ、柔道整復師が県民のお役に立ち、アピールできましたことは、非常に有意義でした。未だ柔整という名の認知度は低いですから、これからも積極的に当会のボランティア団体である、接骨院ボランティア宮城による県民のための活動を推進し、柔整の認知度をアップする努力をしていきます。

水野先生：そうですね。積極果敢に活動すべきです。柔整の概況を見回しますと、WHO

（平成二十六年七月一十日発行）に医事評論家 水野肇先生と櫻田裕会長の対談記事「柔整の将来像 医事評論家 水野肇先生に聞く」が掲載されました。  
公益社団法人日本柔道整復師会・機関誌 日整広報はつらつVOL. 227  
掲載記事をご紹介いたします。

(次ページ左上へ続く)



【プロフィール】  
水野 肇

医事評論家。1927年大阪生まれ。1948年大阪外語大卒、山陽新聞記者となる。1960年山陽新聞紙上に連載した「ガン・シリーズ」で日本新聞協会賞受賞。退社後、医学、医療問題のフリーライターとなり、税制調査会特別委員、NHK解説委員、社会保険審議会委員などを経て、医療審議会、医療保健福祉審議会・脳死臨調委員、医道審議会などを歴任。著書に「医療はどこで間違ったのか」(リベルタス・クレオ)、「誰も書かなかつた日本医師会」(草思社)、「現代医療をどう改革していくか」(社会保険出版社)など多数。

で公式にオルタナティブ・メディシンとして認められましたし、パーティーをすれば多くの政治家が列席しているし…。と、何だかんだと言いながらも、全体として実は、追い風のようにも感じられますが、それだけで満足していれば徐々に尻すぼみとなってゆくでしょうし、柔整という名の認知度は、これ以上は決して高くはならないでしょうね。

**櫻田：**では今、我われが柔整という名の認知度をアップさせるために早急になすべきことは何でしょうか？

**水野先生：**それはズバリ、「学」の構築でしょう。宮城県の柔道整復師会もそれに向けた努力をされており、私も後押しをさせていただいてきましたが、ローカルなものに留めず、業界全体として大々的に「学」を構築してゆくことが急務ではないでしょうか？柔整は300年の歴史を持っているといわれますが、私は実際にはそんなものではないと思っ

ています。恐らく人類は有史以来、動物の狩りや人間同士での闘いによって、骨折をはじめとした外傷などは日常茶飯事だったはずですが、そのころは医学も何もなかったわけですから、恐らく“骨接ぎらしきこと”を施すことによって回復を図っていたことが十分考えられるわけです。そういう自然治癒力を活用した経験則による“手当て”が長い歴史の中での柔整の源流であるとすると、それだけの歴史に裏打ちされた柔整は、我が国にとって誇るべき医療ということもできます。しかし、一方では、経験則で何とか施術ができるてしまう分、理論的裏付けという大変重要な致命的な研究活動を怠ってしまった。だから、いまでも「医学」がほとんどない国や地域、これが世界にはまだ結構存在しますが、こういう所へ柔整が行くと大変歓迎されている一方で、「医学」がきちんと存在する先進国では、どうしても柔整のようなタイプは冷遇されてしまっています。ですから、柔整が日本の伝統医療として、我が国のみならず世界で繁栄するためには、何としても「学問」として認知されねばならない、柔道整復の「学」を構築しなければならない、という点に集約されてくるわけです。

**櫻田：**あらためて水野先生からご指摘いただいてみると、頭では分かっているつもりでも、柔整の業界は、随分安閑としていると痛感いたします。それにしましても、水野先生は、柔道整復師よりも柔道整復師のことを良くご存じですね。

**水野先生：**ほかでもそう言われることがあります。ですが、あれは確か、赤門鍼灸柔整専門学校同窓会の何十周年かの記念パーティーでしたでしょうか…。それが松本市で開催された際、講演を頼まれて伺ったのですが、余興で入っていたカルテットの中の1人が偶然、知り合いの演奏家で…。その方から「柔道整復師の先生方に先程から演奏を楽しんでいただいておりますが、はたして満足してくださっておりますでしょうか？」と不安げに聞かれ、そのときはさすがに困りました。柔整のことを知っているとはいえ、まさか柔道整復

(次ページ左上へ続く)

師の方々の好きな音楽までは、ね（笑）。

**櫻田：**ごもっともです（笑）。ところで、水野先生がご指摘の「学」の構築のために、私たちは具体的にどのように動いてゆくべきでしょうか？

**水野先生：**私からは3点、提示させていただきます。1つ目は、大学に柔整の寄付講座を開設すること。2つ目は、柔道整復師の学会誌を持つこと。3つ目は、医療の中で、現状のほかに柔整で扱えると思われる疾患、症状等についてもっとアピールをすることです。要は柔整には、歴史に裏打ちされた柔整の神髄のようなものがあると思いますので、それをいかに学問的に構築していく形として世に示せるか？ということに尽きます。「柔整とは何ぞや？」との問い合わせに対して「整形外科の真似ごとなどではありません」「理学療法や作業療法とも全く違います」「整体等とは一緒にしないで欲しいです」うんぬんという声は柔整の方々からよく聞かれます。しかし、その先が出て来ない。だからやっぱり「それじゃあ柔整とは何ぞや？」となってしまうのです。「学」を構築するという取組みは、言葉で言うのは簡単ですが、派手さもなく非常に地味でエネルギーや根気のいるものではあります。今からの努力が10年後、20年後の柔整の立場を決定付けるといつても過言ではないと思っています。果たして何者なのかがはっきりしなければ、職域の拡大も、制度の改革も、しようにもできないでしょう？今は、もどかしい思いもたくさんされているのかも知れませんが、逆に柔整の「学」の構築が成し遂げられて、柔整のことが明確に理解されれば、医療分野での有用な社会資源として、大変注目されてゆくことだと思いますよ。

**櫻田：**柔道整復師数の増加を背景に、出来高払いであるとはいえ、療養費という、ある面限りある1つのパイを貪り合うようなジリ貧状態になってきていることを考えますと、宮城県の会長として会員の方々の職域の拡大はまさに急務であると切実に感じております。当会でも介護分野や介護予防分野への参入を見据えて積極的に情報提供や実際の予防教室

の開催をしてきておりますが、会員によって相当な温度差があるのが実情です。その背景にはやはり、水野先生がご指摘のとおり、根本的な部分で、柔整の存在意義が確立されていないからなのだと思います。ほかの誰よりもまず柔道整復師自身に「柔道整復師とは何ぞや？」の答えが見い出せないでいるのだと思います。

**水野先生：**療養費のお話が出ましたので…。医療費について、さまざまながらみうんぬんはここでは除いた上で申し上げますと、いわゆる単価の話で恐縮ですが、疾患によっては、整形ではなく柔整にお願いしたほうが、どれだけ安価で済むか分かりません。いや、誤解しないでほしいのは、安から良からうの話をしているのではなく、柔整の場合は単価的にも安い額で、非常に親身になって丁寧な施術をしてくれるということを申し上げておきます。

このことは、行政や保険者も恐らく分かっていることだと思いますが、ではなぜ柔整に向いてくれないのか？それはつまり、何しろ、そこからもう一步が足りないわけです。柔整にお願いするに足るだけの判断材料、いわゆる繰り返しになりますが「柔整とは何ぞや？」に対するアンサー「柔道整復学」が確立できれば、柔整の活躍の場はまだまだ広がりをみてゆくことだと思いますよ。ですから柔整の業界は、療養費の既得権の部分ばかりを強調するのではなく、ぜひとも更なる高みを目指していただきたいものです。療養費の細かい点の攻防もまた大切なのでしょうが、それにだけ終始するのではなくて、療養費の協定を結んでいる意義自体を改めて認識してみる時期にきているのではないか？

**櫻田：**永きにわたり医療業界の変遷に携わってこられました水野先生ならではの貴重なお話を頂戴できまして、大変、光栄でございました。ご教示を肝に銘じながら、また明日から頑張っていきたいと思います。

**水野先生：**そう言えば、先にも少しお話ししました選挙の話ですが、柔整の団結力は本当に大したものだと思います。実際に、多くの

(次ページ左上へ続く)

候補者を応援して当選させる力があるのですから、他を応援するばかりじゃなくて、そろそろ自前の政治家を養成することを考えても良いのではないでしょうか？歯科医師会でも1人当選しておりますが、機動力からすれば柔整のほうがよっぽどありますから、ぜひ、自前の政治家を擁立し、国会で直接、柔整のことについて発言できるようにすべきでしょう。柔整業界には、それだけの自力がついてきていると思いますよ。私にできること

は応援しますので、その節は、よかつたらお声掛けください。ただし、何事もタイミングはとても大切です。柔整の方々は、空気を読むのがお上手でしょうか（笑）？

櫻田：上手になりたいと思います（笑）。今後とも、ご指導の程をよろしくお願ひいたします。

本日は、長時間にわたり、本当にありがとうございました。



▲水野先生（左）と櫻田会長

今回の日整広報はつらつ「柔整サロン」の記事転載に、快くご承諾いただきました公益社団法人日本柔道整復師会広報部長 水野官久先生、柔整サロン掲載時のご助言をいただきました日整広報部員 齊藤勝典先生、転載資料等をご準備いただきました日整事務局 広報担当 福王秀子様には、心より感謝申し上げます。また、次ページから掲載の「東日本大震災から3年、被災県に思うこと」、こちらの転載をご快諾いただきました、からだサイエンス 編集長 枝千恵子様にも、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

## ☆2011年3月11日の東日本大震災を決して忘れない、忘れてはならない！

世界中の人々の価値観を変えたあの東日本大震災から3年の時が流れてしまった。しかし、復興にはまだまだ時間がかかりそうな中で、被災された方々は疲弊している。自分たちの手で復興するしかないのか。しかし、当事者の方々にはまだパワーが残されている人も勿論いるが、力尽きてしまっている人々はどうすればいいのか。せめて被災しなかった人たちが何らかの支援をするべきではないのか？今後、日本国民は支援策をもっともっと真摯に模索していくべきではないだろうか。

宮城県柔道整復師会・櫻田会長に3年経った思いなどをご執筆いただいた。

### 『東日本大震災から3年、被災県から思うこと』

公益社団法人宮城県柔道整復師会  
会長 櫻田 裕

#### 一大災禍の発生・忘れられない記憶ー

3月11日は県内内陸の自院内で施療中でした。たびたび地震が続いていたこともあり、大きな揺れもすぐにおさまるだろうと患者さんと話しているうちに、一気に立っていられないほどの激しい揺れとなりました。そして突然の停電。さらに激しい2波目の揺れが襲い、私は、とっさに高齢の患者さんを抱きかかえて治療ベッドの下にもぐり込ませました。院内は恐怖で叫び声が飛びかい、他の患者さん達にも、すぐにベッドの下に避難するようにと叫びました。激しい揺れは次々と薬品棚や材料庫を倒し、収納していた物をまき散らして壊し、書棚の本や書類は、まるで恐怖から逃れようとする生き物のように全てが飛び出していました。長かった揺れが収まると、辺りは倒れた家具や飛散した物で足の踏み場がない状況でした。すぐに院内にいた患者さんやスタッフの無事を確認し、患者さんがたは家族の安否や自宅の状況を気遣い、急いで帰宅の途につきました。スタッフ達にも自宅の状況を確認するよう帰宅させました。私も自宅に戻つてみると、台所や食堂の戸棚からすべての食器が振るい出され、床一面にガラスと陶器の破片が飛び散っていました。



した。居間のテレビは倒れ、テーブルや机は1メートルほど移動、やはり本棚からはすべての本が飛び出していました。寝室では背の高いタンス類の引出しや扉が開き、収納物が吐き出された状態ですべて倒れて重なり合い、足の踏み場もなく部屋の中に入れない状況でした。

外に出てみると、市内は無音の静寂の中で車だけが慌しく走り回り、停電で信号が点灯しない交差点では早くも渋滞が発生していました。電柱は大きく傾いて電線が垂れ下がり、道路はいたるところで陥没や亀裂が走り、30～50センチも陥没した道路は通行不能となり、雪が降り始めた夕刻になると帰宅困難のために幹線道路は大渋滞するという惨状でした。

震災当日はライフラインと通信が完全に停止した中で、辛うじて携帯電話のテレビで大津波による沿岸部の信じ難い惨状を知ることとなり人々驚愕し、自然の猛威の前では人智の及ばぬことを痛感させられて底知れぬ無力感に襲われ、そして恐れおののくばかりでした。

事態の深刻さは日を追うごとに目を覆うばかりでしたが、避難所に全国各地から続々と水や食糧などの支援物資が届けられるありがたさと、救援活動に急行する自衛隊員の勇姿、そして、ライフラインの復旧支援のために全国から派遣された電気、ガス、水道関係の支援車両が續々と連なる様を目の当たりにして、ありがたさと心強さで身体がふるえ涙が流れて止まらなく、今でも当時の情景を思い出すと目頭が熱くなります。

## トピックス

からだサイエンス柔整Version 第二五号（平成二十六年四月十五日発行）に当会の櫻田裕会長の「東日本大震災から3年、被災県から思うこと」が掲載されました。

(次ページ左上へ続く)

### ー復旧から再生・そして課題ー

震災の発生から3年が過ぎました。宮城県の10年にわたる震災復興計画では当初の3年間を「復旧期」、続く4年間を「再生期」、最後の3年間を「発展期」としています。

復興については物質的な側面と心理的な部分の観点から考えなければならないと思います。復興庁の災害に対する復旧事業は社会基盤関連の土木建設工事ラッシュを呈しており、崩壊した地域経済や仕事を失った被災者の生活再建を牽引する役割を担っています。しかしながら、被災3県では未だに約26万7千人が避難生活を強いられ、宮城県では、約9万人の方々が仮設住宅などの劣悪で不便な生活環境下にあります。3年経過時点のプレハブ仮設住宅の入居率は84%と、阪神淡路大震災の50%に比べると住宅を基本とする暮らしの再建の遅れが目立っています。これは津波の被害に地盤の沈下も加わったため、沿岸地域の地盤のかさ上げや高台への移転計画が遅々として進まないことが原因と考えられます。工事や用地の取得の遅れだけではなく、住民の合意形成が思うように得られず計画が進まないことが問題になっています。

被災地の再生計画がなかなか進展しないこともあり、経済的な復興を早く遂げつつある方や、労働環境に恵まれて適応力のある若い世代は、被災地を離れて新しい環境を確立して生活し始めています。その反面、労働環境に恵まれず経済的になかなか再建できない方や、年齢や体力的に制約をもつ方。また、震災で地域のコミュニティが崩壊し長期間の孤立した避難生活により社会的な不安感や意欲の低下などが影響して生活が不活発状態となり運動機能の低下を招く方。家族を亡くすなどの非常に大きな心理的傷害を受けた方においては、社会とのコミュニケーションが減少し引きこもり傾向から抑うつ状態となり精神機能の障害をかかえ、多重の困難に喘いでいる方々が数多くいらっしゃいます。

また、最近の調査では、津波による被害を受けた地域の再開発整備が進まないことや災害公営住宅の完成が進まないために生活の再建が遅れ、仮設住宅での生活から抜け出せずに時間が経過してしまい意欲が低下の一途をたどり目標を見失って、仮設住宅を出ることができずに將

来設計が立たない方々が顕在化してきています。特にこの傾向は高齢になるほど高くなっています。

### ー大規模災害時の柔道整復師としての取組ー

宮城県柔道整復師会は震災当初、それぞれの会員が甚大な被害を受けながらも震災直後から自発的に、柔道整復師の本業を生かして救護や救援ボランティアを行いました。そして当会SVM(接骨院ボランティア宮城)災害対策本部が立ち上げられてからは、県や市区町村、日赤と連携し組織的に活動を行い、一次医療救護からはじまり、避難生活の長期化により発生するエコノミー症候群や廃用症候群の予防、健康相談支援など、幅広い支援活動を展開しました。また、日本柔道整復師会本部や全国の社団柔道整復師会からは心強いご支援をいただき、全国から駆けつけてくれた同志が被災地の避難所で力強い支援を行ってくださいました。

このような柔道整復師の活動が認められた結果、宮城県との間で大規模災害時の医療救護活動に関する協力協定を締結することとなりました。これは、柔道整復師が行う医療救護が災害医療行政に組み込まれ、県民の生命の安全と健康の一翼を担う重大な役割を負うことでもあり、高い評価と期待を受けたことの重責をひしひしと感じている次第です。

そして現在、公益社団法人日本柔道整復師会では「災害派遣柔道整復チーム」DJAT:Disaster Judotherapist Assistance Teamを設置して日本赤十字社と協定を結び全国47都道府県に災害対策委員を置き、柔道整復師が災害活動に積極的に参加できる環境を整備しました。柔道整復師が地域や県境を越えて災害救護を行う時代がいよいよ到来しました。

### ーこれからの時代・そして社会への対応ー

日本は諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しています。65才以上の人口は、現在3,000万人を超えて国民の約4人に1人の割合となり、2042年には約3,900万人となりピークを迎え、その後も75才以上の人口割合は増加し続けることが予想されています。このような状況の中で約800万人を数える団塊の世代が75才以上となる2025年(平成37年)以降は国民の医療や介護の需要がさらに増加することが見込まれてい

(次ページ左上へ続く)

## ☆東日本大震災を決して忘れない、忘れてはならない！

ます。

このため、厚生労働省では2025年(平成37年)を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、「地域包括システム」という地域での包括的な支援・サービス提供体制の構築を推進しています。(※厚生労働省HPより)

現在、公益社団法人日本柔道整復師会では、さし迫る人口の高齢化と不足する介護支援サービスの問題に取り組むために、次のような提案をしています。

### 【地域包括ケアシステムにおける柔道整復師の活用の提案】

#### ①医療（療養費）として

柔道整復師の業務である骨折、脱臼、打撲、捻挫、挫傷(肉ばなれ等)、またそれらに伴う関節拘縮等を取り扱う職種として、地域包括ケアシステムの中で社会的・人的資源として貢献させていただきたい。(骨折・脱臼に関しては応急の場合を除き、医師の同意を得る)

#### ②介護予防（機能訓練指導員）として

地域支援事業等における運動器の機能向上を必要とされた方に対して、地域包括支援センターを通して、接骨院・整骨院を地域の運動機能向上拠点として活用していただきたい。

#### 【現在の社会保障制度に対するメリット】

既存の柔道整復師(接骨院・整骨院)を部分医療や介護予防提供施設として活用できるため、新たな資本投資をする必要がない。また、費用面で既存の医療・介護提供先より、安価で提供できる。

公益社団法人日本柔道整復師会では、「介護予防・機能訓練指導員認定柔道整復師講習会」(注1)を、平成17年度から開催して、会員の資質向上に努めてきた。もともと、柔道整復師(接骨院・整骨院)は骨折、脱臼等の施術経験から、加齢による筋力低下やバランス能力向上の機能訓練を行ってきた経緯がある。地域包括ケアシステムなどへの参加については、公益社団法人の会員として講習会を受けた柔道整復師を是非とも活用していただきたい。

(注1)機能訓練とは、日常生活を営むために必要な機能の減退を防止するため、機能訓練指導員(医師・歯科医師・看護師・柔道整復師・PT・OT・あん摩マッサージ指圧師等)が行う訓練である。

員(医師・歯科医師・看護師・柔道整復師・PT・OT・あん摩マッサージ指圧師等)が行う訓練である。

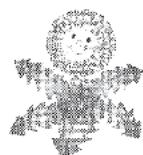
### －社会に求められる柔道整復師・柔整師としての矜持－

現在の日本は世界に例をみない高齢化率の急激な上昇と、同時に出生率の低下を合わせて進む人口減少社会を突き込んでいます。その中で柔道整復師は、本来の負傷に対する治療行為の部分医療分野だけではなく、機能訓練指導員という立場から、介護・福祉の分野でも、求められ活躍できる職種者であらなければならないと考えます。

これまでの歴史の中で柔道整復師は時代とともに変遷を重ねてきました。今の時代を見てみると、柔道整復師が増加の一途をたどり柔道整復療養費の伸び率を上回る勢いで免許者数が増加して、柔道整復師の飽和状態が叫ばれています。また、それに付随してか、いろいろな問題が発生し社会からとかくの風評を受けています。

日本伝統の民族医療をルーツにもつ職種を生業に選んだ者としては、先達の歴史に思いをいたし、新たな発展をもたらして後進に引き継ぐ責務を常に意識することが絶対であると考えます。

最後に、東日本大震災から3年が経過し、今後予測される首都直下、東海、東南海、南海地震などの大規模災害においては、東日本大震災と同様の規模を想定して、二度と「想定外」という最悪の結果とならないように備えなければなりません。政府からは、そのような大規模災害を想定した防災や減災の対策大綱が打ち出され、行政はそれぞれに対応を急いでいるところです。しかしながら、いつの時代においても、大自然は人間の想像と対応を超えた、言葉では到底表わせない災禍を容赦なくあびせています。大規模災害時のライフライン機能が不能となった状況下では、私たち柔道整復師の技術や能力が非常に有用となります。国民に必要とされ、そして負託に応えるべく、一人ひとりの柔道整復師が覚醒し意識を高くしてゆかなければなりません。



# 新入会員紹介

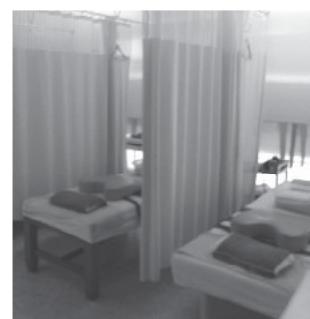
① 氏名 ② 生年月日 ③ 院名 ④ 開設年月日 ⑤ 出身校 ⑥ 出身地 ⑦ 趣味・特技 ⑧ 理念



- ① 菅原 洋輔
- ② 昭和52年4月19日生
- ③ リカバリー整骨院
- ④ 平成26年3月1日開設
- ⑤ 仙台医健専門学校
- ⑥ 宮城県大崎市



- ① 三品 智博
- ② 昭和50年7月1日
- ③ 楽動 青山整骨院
- ④ 平成26年4月1日（院長交代）
- ⑤ 仙台接骨医療専門学校
- ⑥ 宮城県岩沼市
- ⑦ ウォーキング、音楽鑑賞
- ⑧ 併設していますデイサービスを含めまして、地域の方々の健康増進に少しでも貢献できるよう精進していきます。



- ① 高橋 健
- ② 昭和60年6月8日
- ③ 佐々木接骨院
- ④ 平成26年4月1日（院長交代）
- ⑤ 赤門鍼灸柔整専門学校
- ⑥ 宮城県加美郡加美町
- ⑦ 家庭菜園

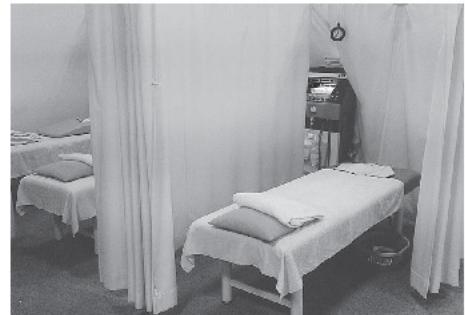


- ① 大江 周史
- ② 昭和61年4月19日
- ③ 健心堂整骨院
- ④ 平成26年4月1日（院長交代）
- ⑤ 仙台医健専門学校
- ⑥ 山形県東根市
- ⑦ スポーツ観戦、映画鑑賞、茶道
- ⑧ なせば成る 為さねば成らぬ何事も成らぬは人の為さぬなりけり





- ① 村山 光佑  
② 平成3年11月28日  
③ スマイル接骨院中山  
④ 平成26年4月1日（院長交代）  
⑤ 東日本医療専門学校  
⑥ 山形県  
⑦ スポーツ観戦、ラーメン食べ歩き  
⑧ 患者さんが1日でも早く良くなって、より良い生活を送っていただけるように治療する



- ① 國分 俊繁  
② 昭和58年10月30日  
③ 赤門鍼灸柔整専門学校付属  
東洋医学臨床治療所  
④ 平成26年4月8日  
⑤ 赤門鍼灸柔整専門学校  
⑥ 仙台市  
⑦ 映画鑑賞、登山  
⑧ 常に疑い、考え続けること



- ① 齋藤 寿  
② 昭和63年6月14日  
③ かむりがわ整骨院利府青山  
④ 平成26年4月8日  
⑤ 仙台接骨医療専門学校  
⑥ 利府町  
⑦ 野球、釣り  
⑧ 雨垂れ石を穿つ



- ① 松川 真也  
② 昭和62年2月8日  
③ まつかわ接骨院  
④ 平成26年4月14日  
⑤ 仙台接骨医療専門学校  
⑥ 秋田県横手市  
⑦ 楽器演奏、卓球  
⑧ 患者様とのコミュニケーションを十分に図り信頼関係を築くこと



- ① 阿部 勝子  
② 昭和18年6月4日  
③ 阿部整骨院  
④ 平成26年4月18日（院長交代）  
⑤ 赤門鍼灸柔整専門学校  
⑥ 仙台市  
⑦ カラオケ、温泉めぐり（旅）





- ① 千葉 幸弥
- ② 昭和56年9月7日
- ③ おおえ整骨院駅前北通
- ④ 平成26年5月1日（院長交代）
- ⑤ 仙台接骨医療専門学校
- ⑥ 宮城県石巻市
- ⑦ 音楽鑑賞、PCスキルには自信あります
- ⑧ 地域密着をモットーに、リラックスした雰囲気で心と体を癒して頂きたいです



- ① 佐藤 勝成
- ② 平成元年9月15日
- ③ まえだ中央整骨院
- ④ 平成26年5月1日（院長交代）
- ⑤ 仙台医健専門学校
- ⑥ 青森県むつ市
- ⑦ スポーツ観戦、読書、ゲーム
- ⑧ 物理療法、手技療法を用いて筋肉に対してアプローチを行い、症状の改善、治癒を目指し治療していく。



- ① 佐藤 厚志
- ② 昭和59年10月12日
- ③ 接骨院あんかん
- ④ 平成26年5月1日（院長交代）
- ⑤ 東日本医療専門学校
- ⑥ 気仙沼
- ⑦ ダーツ
- ⑧ 真摯な心で接し心地良い環境を提供します。



- ① 多田 稔英
- ② 昭和43年1月2日
- ③ 中屋敷接骨院
- ④ 平成26年5月7日
- ⑤ 赤門鍼灸柔整専門学校
- ⑥ 岩手県花巻市
- ⑦ 山登り
- ⑧ 懇切丁寧



- ① 鈴木 康文
- ② 昭和60年10月31日
- ③ 悠々堂 藤倉整骨院
- ④ 平成26年5月7日
- ⑤ 健生学園 東日本医療専門学校
- ⑥ 宮城県
- ⑦ スポーツ
- ⑧ 敬和一心

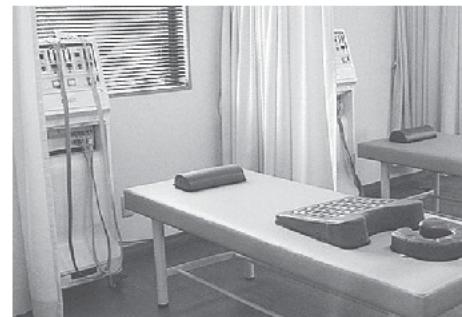




- ① 鈴木 健晃
- ② 昭和58年3月8日
- ③ 南光台南整骨院
- ④ 平成26年5月12日（院長交代）
- ⑤ 赤門鍼灸柔整専門学校
- ⑥ 長野県長野市
- ⑦ 料理、音楽
- ⑧ 患者様の痛みや不安を少しでも回復させるお手伝いをさせて頂く事を職務とし、治療技術の向上に励み、患者様との信頼を構築し安心して施術を受けて頂けるよう努力する。



- ① 伊藤 優佑
- ② 昭和63年8月31日
- ③ 接骨院きたかた
- ④ 平成26年5月12日
- ⑤ 仙台接骨医療専門学校
- ⑥ 宮城県登米市
- ⑦ 野球
- ⑧ 患者さんが笑顔になれるように心を込めて施術する。



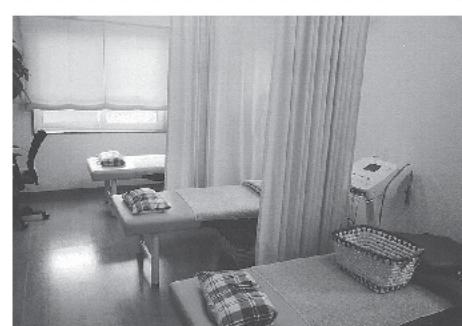
- ① 貝原 佑南
- ② 平成元年2月26日
- ③ 秋山接骨院
- ④ 平成26年6月1日（院長交代）
- ⑤ 仙台接骨医療専門学校
- ⑥ 仙台市
- ⑦ 登山、バスケットボールなど
- ⑧ 情熱をもって仕事を全うすること  
情熱をもって人と接すること



- ① 酒本 陽剛
- ② 昭和42年12月18日
- ③ 阿部整骨院
- ④ 平成26年6月2日
- ⑤ 明治鍼灸柔道整復専門学校
- ⑥ 京都
- ⑦ 食べ歩き 読書
- ⑧ 来院される方の目線で考える



- ① 畠山 拓也
- ② 昭和61年3月3日
- ③ 気仙沼みどり接骨院
- ④ 平成26年6月16日
- ⑤ 赤門鍼灸柔整専門学校
- ⑥ 宮城県気仙沼市
- ⑦ スポーツ・ギター弾き語り
- ⑧ 院名の「みどり」は自然由来の生命力に満ち溢れた健康の象徴の色です。来院された皆様の健康のサポートをしたい、癒しの場であり心身の調整を取れる場になればと考え院名といたしました。その為に患者様一人一人に真摯に向き合い誠心誠意施術に当たりたいと思っています。



# 訃報



阿部 一茂 会員（享年四十八歳）

（平成二十六年四月十七日没）

入会年月日 平成五年八月一日

長年の当会への  
多大なるご尽力に対し心より感謝し  
悲しいお別れに際し  
謹んでお悔やみ申し上げ  
ご冥福をお祈り申し上げます



## SVM活動状況 (平成25年12月1日～平成26年6月30日迄)

依頼団体名	日時	合計
第1回 宮城県昇段審査会	5/11	1
石巻支部柔道大会	5/11	1
石巻支部柔道大会	5/12	1
全日本ジュニア大会 宮城県予選会	5/18	1
高田式 体育教室 ダイヤモンドキッズカレッジ	5/18	2
第16回 宮城県・仙台市障害者卓球大会	5/25	1
2014年度 スペシャルオリンピックス日本・宮城 バスケットボールプログラム	5/25	1
東北総合体育大会 県予選会	5/31	1
名取市中学校総合体育大会	5/31	5
2014年度 スペシャルオリンピックス日本・宮城 バスケットボールプログラム	6/1	1
第29回 杜の都Kidsウォーカラリー	6/1	1
気仙沼・本吉地区中学校総合体育大会 柔道競技	6/1	1
平成26年度 第10回 石巻地区中学校総合体育大会柔道競技	6/1	2
宮城県警察発足60周年記念 宮城県警察柔道・剣道大会	6/5	2
2014年度 スペシャルオリンピックス日本・宮城 バスケットボールプログラム	6/8	1
第2回 仙台中央警察署協議会	6/12	1
第20回 気仙沼・登米地区柔道スポーツ少年団協議会交流会	6/15	1
仙南地区柔道スポーツ少年団交流会	6/15	1
平成26年度 宮城県高体連定通柔道大会	6/21	1
村田町小中学校父母教師会連合会 スポーツ交流大会	6/21	2
平成26年度 東北管区内警察柔道・剣道大会	6/25	1
第67回 東北高等学校相撲選手権大会	6/28	1
第68回 東北高等学校相撲選手権大会	6/29	1
2014年度 スペシャルオリンピックス日本・宮城 バスケットボールプログラム	6/29	1
岩沼市武道大会	6/29	1
平成26年度 第11回 全国小学生学年別柔道大会宮城県予選会	6/29	2
気仙沼PTA連合会ソフトバレー大会	6/29	1
介護予防体操	6/29	1

依頼団体名	日時	合計
平成25年度 民間指導者育成事業 「生涯現役～あなたも心と体のサポート」	1/11	2
震災復興祈念 第2回 気仙沼・登米地区柔道スポーツ少年団協議会団体交流会	1/18	2
東北シクロクロスシリーズ TOHOKU CX Project 第5戦	1/19	2
平成26年 全日本柔道選手権大会宮城県予選会並びに平成26年 全日本女子柔道選手権大会宮城県予選会	1/19	1
第3回 石堂久男杯 大崎地区中学校柔道退会	1/19	2
第5回 宮城県昇段審査会	1/25	1
第22回 柴田郡柔道大会	1/26	2
第36回 宮城県下中学生柔道新人体重別選手権大会	2/9	2
出張!元気応援教室(二次予防 普及啓発)	2/15	2
第1回 仙台中央警察署協議会	2/19	1
平成25年度 泉区スポーツ少年団指導者・母集団講習会	2/22	1
平成26年 全日本柔道選手権大会 東北予選会	3/2	2
平成26年 全日本女子柔道選手権大会 東北予選会		
第65回 東北東西対抗柔道大会		
第34回 全国少年柔道大会 宮城県予選会	3/23	2
平成26年 知的障害者団体競技 北海道・東北ブロック予選 仙台市代表決定戦(サッカー競技)	4/12	1
2014年度 スペシャルオリンピックス日本・宮城 バレーボールプログラム	4/13	1
平成26年度 石巻地区スポーツ少年団柔道交流大会		
第33回 石巻地区少年柔道大会		
第54回 石巻地区中学校柔道大会		
第11回 宮城県テコンドー(東北招待)選手権	4/27	1
第37回 七郷柔道愛好会会長杯争奪高等学校柔道大会	4/29	1
第40回 若獅子旗高校柔道大会	5/3	2
2014年度 スペシャルオリンピックス日本・宮城 バスケットボールプログラム	5/11	1
第20回 たつがねMTB大会	5/11	2

# 平成25年12月～平成26年6月 会務報告

2月			26年1月			25年12月		
1 土	仙台市委託事業元気応援教室		1 水			1 日		
2 日			2 木			2 月		
3 月	手書き会員レセ提出締切日		3 金	手書き会員レセ提出締切日		3 火	手書き会員レセ提出締切日	
4 火			4 土	事務局年始休暇†		4 水	仙台市介護予防推進室訪問	
5 水	月初送金日		5 日	宮城県医師会新年会		5 木	月初送金日 JA共済連絡会議準備会	
6 木	レセコン会員レセ提出締切日 災害対策準備会議in日整		6 月	レセコン会員レセ提出締切日 仕事始め 新年の集い(仙台市)		6 金	レセコン会員レセ提出締切日	
7 金			7 火	月初送金日 新入会員保険勉強会 会館竣工神事打合せ		7 土	新入会員保険勉強会 構築研究員会	
8 土	仙台市委託事業元気応援教室 新入会員保険勉強会 広報部外部講師による勉強会		8 水			8 日		
9 日			9 木			9 月	新会館最終検査実施 保険関連会議 広報部会	
10 月			10 金	仙台市医師会新年会 事業部会		10 火	JA共済連合会連絡会議	
11 火			11 土	仙台市委託事業元気応援教室		11 水	政治資金規正法の説明会	
12 水			12 日	宮城県薬剤師会新年会		12 木	学術会議	
13 木			13 月			13 金	東北厚生局柔整師個別指導立会い 独立会員面接1名	
14 金	三役会・第7回理事会・第4回監査会		14 火	公明党新春賀詞交歓会		14 土		
15 土	仙台市委託事業元気応援教室		15 水	会館竣工式 神事		15 日		
16 日			16 木	国保連合会療養費審査委員会		16 月	国保連合会療養費審査委員会 広報部会・保険部会	
17 月	広報部会		17 金	協会健保療養費審査委員会		17 火	協会健保療養費審査委員会 顧問愛知議員国政報告会	
18 火	国保連合会療養費審査委員会		18 土	新年祝賀会 仙台市委託事業元気応援教室		18 水		
19 水	協会健保療養費審査委員会		19 日			19 木	三役会・第6回理事会・監査講評・評議員会	
20 木			20 月			20 金		
21 金	東北厚生局柔整師個別監査立会い		21 火			21 土		
22 土	仙台市委託事業元気応援教室 「柔道整復学」構築研究委員会		22 水	新入会員面接1名		22 日		
23 日			23 木	仮事務所引越し		23 月		
24 月	総務部総会進行打合せ 会計士経理精査		24 金	仮事務所引越し 東北厚生局柔整師個別指導立会い		24 火	保険部会(返戻レセ確認作業) 会計士経理精査	
25 火	保険部会(返戻レセ確認作業) 社会保険労務士との面談		25 土	東北ブロック会第6回理事会 仙台市委託事業元気応援教室 「柔道整復学」構築研究委員会		25 水	柔道整復師議員懇話会開催	
26 水			26 日			26 木	連絡袋発送 東北厚生局柔整師個別指導立会い	
27 木	協会健保との定例協議会		27 月	日整広報「柔整サロン」取材 第2回卒後臨床研修実施委員会 東北厚生局柔整師個別指導立会い 顧問秋葉議員新年会 会計士経理精査		27 金	月末送金日	
28 金	月末送金日・連絡袋発送 公益法人定期提出書類説明会 臨時総会案内・議案書送付		28 火	協会健保担当者との連絡協議		28 土		
			29 水	日整業界説明in赤門 保険部会(返戻レセ確認作業)		29 日		
			30 木			30 月	事務局年末休暇†	
			31 金	月末送金日・連絡袋発送		31 火		



6月			5月			4月			3月		
1日	県・市障害者スポーツ大会開会式		1木	構築学会打合せ会 独立会員面接1名		1火	介護企画推進室会議		1土	仙台市委託事業元気応援教室	
2月			2金			2水	会計士経理精査 柔道大会事前会議		2日		
3火	手書き会員申請書提出日		3土	手書き会員申請書提出日 保険個別指導		3木	手書き会員申請書提出日 拡大役員会(入会者)		3月	手書き会員レセ提出締切日 日整業界説明in仙台医健専門学校	
4水			4日			4金	学術部会		4火		
5木	月初送金		5月			5土	東北ブロック会第1回理事会in盛岡		5水	月初送金日 JIMTEF災害医療研修アドバンスコース	
6金	レセコン会員申請書提出日 独立会員面接1名 赤十字奉仕団役員選出会議		6火	レセコン会員申請書提出日 新入会員保険勉強会		6日	東北ブロック会第1回学術部会in仙台 レセコン会員申請書提出日 新入会員保険勉強会		6木	レセコン会員レセ提出締切日 赤門鍼灸柔整専門学校卒業式	
7土	仙台市委託事業元気応援教室 新入会員保険勉強会 広報部会		7水	月初送金 「柔道整復学」構築研究委員会 会計士経理精査		7月	月初送金 東急建設スロープ追加工事の件		7金	東北厚生局個別指導立会い派遣	
8日	東北ブロック会第2回学術部会in盛岡		8木	元気応援教室資料準備		8火	リウマチ専門医宗像医師との面談		8土	仙台市委託事業元気応援教室 仙台接骨医療専門学校卒業式 新入会員保険勉強会	
9月			9金			9水	新入会員面接 1名		9日	H25年度第2回臨時総会	
10火			10土	仙台市委託事業元気応援教室 柔整スクール		10木	第1回監査会 仙台接骨医療専門学校入学式 構築学会打合せ		10月	独立会員面接1名	
11水	第6回「柔道整復学」構築学会準備会議 新入会員面接1名		11日	第64回宮整ゴルフ愛好会コンペ		11金			11火		
12木			12月	東北厚生局個別指導立会い派遣 東京都役員面談		12土	東日本医療専門学校入学式		12水	新入会員面接2名(26年4月1日付け)	
13金			13火			13日	(はればれ教室現地視察(東松島)		13木		
14土	仙台市委託事業元気応援教室		14水	国保連合会療養費審査委員会		14月			14金		
15日	第39回中国学術大会in山口		15木	全国政治連盟委員長会議in日整 H26全国赤十字大会in明治神宮 総会事前打合せ		15火	国保連合会療養費審査委員会		15土	仙台市委託事業元気応援教室 東北ブロック会平成25年度監査会事務局引継会	
16月	宮城県柔整師懇話会開催		16金	協会健保療養費審査委員会 総会進行打合せ会		16水	協会健保療養費審査委員会 第1回評議員会 仙台医健専門学校入学式		16日	第5回市民フォーラム 「新しい東北」会員交流会 「宮城県障害者スポーツ協会」集い	
17火	協会健保療養費審査委員会		17土	仙台市委託事業元気応援教室		17木			17月	国保連合会療養費審査委員会	
18水	国保連合会療養費審査委員会 会計士経理精査 第6回宮城県「柔道整復学」構築学会責任者会議		18日	定期総会開催 SVM地域代表者会議		18金	第1回三役会・理事会		18火	協会健保療養費審査委員会 仙台医健専門学校卒業式 会計士経理精査	
19木	事業部会 介護企画推進室事前会議		19月	構築学会特別講師打合せ会		19土	柔整スクール		19水	「柔道整復学」構築研究委員会	
20金			20火			20日	会員葬儀(阿部一茂)		20木	介護推進会議	
21土	仙台市委託事業元気応援教室 第6回宮城県「柔道整復学」構築学会in茂庭莊		21水			21月			21全		
22日	構築学会in茂庭莊 日整通常総会 柔道選手合同練習会・激励会		22木	構築学会展示業者打合せ会		22火			22土	仙台市委託事業元気応援教室	
23月			23金	JA共済連担当者打合せ会		23水	新入会員面接 6名		23日	日整全国会長会議	
24火	介護企画推進室会議		24土	仙台市委託事業元気応援教室 柔整スクール DJAT全体会議in日整		24木	(はればれ教室開催事前会議		24月	保険部に関する会議	
25水	新入会員面接1名		25日			25金	保険部会(返戻レセ確認作業) 新旧部員引継ぎ		25火	日整連盟執行委員会in自民党本部	
26木	保険部会(返戻レセ確認作業)		26月			26土	「柔道整復学」構築研究委員会 柔道大会設営準備		26水	新入会員面接8名(26年4月1日付け)	
27金			27火	個別指導・監査に関する検討会		27日	平成26年度少年柔道大会in女川		27木	保険部会(返戻レセ確認作業)	
28土	仙台市委託事業元気応援教室 柔整スクール		28水	保険部会(返戻レセ確認作業) 新入会員面接2名		28月			28金	柔道大会準備会議	
29日	リウマチ専門医による講習会		29木	(はればれ教室開催復興庁訪問		29火			29土	仙台市委託事業元気応援教室	
30月	月末送金・連絡袋発送		30金	月末送金・連絡袋発送		30水	健保連みやぎ連合会を表敬訪問 月末送金・連絡袋発送		30日		
			31土	仙台市委託事業元気応援教室 東北ブロック会第2回理事会in盛岡					31月	月末送金日・連絡袋発送	

## 宮城県「柔道整復学」構築学会 賛助会員

株式会社 エス・エス・ビー

株式会社 カナケン

株式会社 グローバー

日本プロジェクト 株式会社

株式会社 パールシャープ仙台

ダイヤ工業 株式会社

ミナト医科学 株式会社

株式会社 OA.システムシャープ

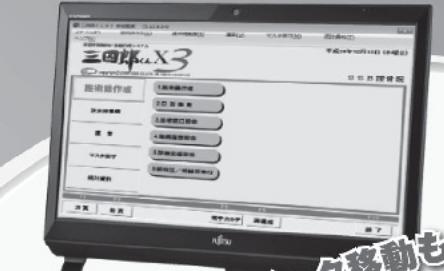
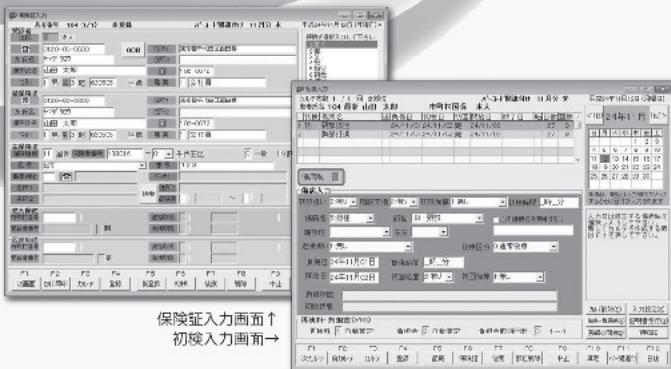
宮城県「柔道整復学」構築学会の活動をご理解頂き、学会を支えて頂く賛助会員各社でございます。

宮城県「柔道整復学」構築学会は、会員の皆様が、レセプトシステム・超音波診断装置・医療機器・衛生材料・医薬品のご用命の際には、宮城県「柔道整復学」構築学会として、賛助会員各社を会員の皆様に推奨致します。

## 宮城県「柔道整復学」構築学会推奨

三四郎くんは、  
日本全国で最も多く使われている  
接骨院・整骨院専用のレセコンです！

# 三四郎くんX3



他社からのデータ移動も  
お任せ下さい！

\*一部ご希望に添えない場合があります。

オプションで  
更に便利！



使い勝手の良い操作性はもちろん、療養費改正等の保険改正にすばやく対応。  
迅速サポートでご好評を頂いている「三四郎くん」は、常に進化を続ける信頼と実績の事務管理ソフトです。

## 超音波画像診断装置

骨・軟骨・筋・腱・靭帯などがリアルタイムに観察できます。



サムスン電子ジャパン  
**MySono U6**  
医療機器認証番号：  
第 224AFBZX00078000 号



本多電子  
**HS-2100**  
医療機器認証番号：  
第 220ABZXC00349000 号



日立アコムメディカル  
**Noblus**  
医療機器認証番号：  
第 224ABBZX00092000 号

その他、様々な機種を取り揃えております。

最新柔整情報が読める!! 柔整ホットニュース <http://www.jusei-news.com/>

**SSB 株式会社 エス・エス・ビー**  
<http://www.sanshiro-net.co.jp/>

[仙台営業所] 〒984-0015  
宮城県仙台市若林区卸町5-2-10卸町斎喜ビル301号  
TEL 022-236-7211 / FAX 022-236-7212

# 痛

みの治療に新しい提案

即効深部刺激、サーノスだけのPDMウェーブ搭載



表層部位から深層部位まで治療をコントロール。  
新開発の『PDM波形』を搭載。

KANAKEN

低周波治療器

# SARNOS

—サーノス—

低周波治療器

## SARNOS(サーノス)

KE-548

892,500円(本体価格 850,000円)

(クラスII/特種) 医療機器登録番号: 22ALBZX00038000

- 定格電圧: AC100V
- 消費電力: 60/80W
- 電源入力: 100VA
- 最大出力電圧: 130Vpp±20% (500Ω負荷時)
- 最大出力電流: 70±10mA rms (500Ω負荷時)
- 出力周波数: 1.88kHz±10% ~ 1.74kHz±10% 2.7kHz±10%
- 出力波形: A, B
- 安全装置: ゼロスタート方式・ストップイッチ・電源ヒューズ5A
- 本体寸法: 幅330mm×奥行361mm×高さ228mm
- 本体の重量: 約5.2kg



ただいまデモンストレーションを実施中です。  
お気軽にお問い合わせください。

細胞に働きかける

**BioKanax**  
バイオカナックス  
マイクロカレント  
微弱電流

バイオカナックスは、人間が本来持っている自己回復能力を助けることで、静止細胞を活性化し、筋肉を調整、回復、改善させます。

プロの要求に応えるプログラム機能搭載

バイオカナックスは生理学的な最新情報にもとづいて、複数の大学医学部を始め、多くの専門医の研究と協力によって開発された、小型マイクロアンペア治療器です。治療に適したプログラムと、正確なマイクロアンペアがインプリントされており、完璧なコントローラが採用されています。そのため治療効果が出しやすく、効果も長時間持続します。



●独自の4極干渉通電方式

- 痛みを、筋肉系・神経系に分けて治療します。
- 部位を選べば、プログラム治療ができます。
- ワンタッチ選択方式採用により、治療モードは簡単に選べます。
- ディスプレーで、治療状況を把握することができます。

■仕様

定格電圧: DC8V 単一型電池(1.5V) × 6  
消費電流: 40mA、出力電流: 28μA~500μA  
出力電圧: 14mV (600Ω負荷) MAX-35V  
出力周波数: 0.1Hz~500Hz 出力チャンネル: 2チャンネル  
外形寸法: H132×W320×D250mm  
本体重量: 2.8kg  
(クラスII/特種) 医療用具承認番号21200BZZ00338000

販売元 株式会社 カナケン

本社: 〒225-0002 神奈川県横浜市青葉区美しが丘2-17-39  
TEL 045-801-5471㈹ FAX 045-802-8262  
<http://www.e-kenkou.jp/> E-mail: [info@kanaken.co.jp](mailto:info@kanaken.co.jp)

大阪営業所: TEL 06-6935-3016㈹ FAX 06-6935-3017

新潟営業所: TEL 025-286-0521㈹ FAX 025-286-8870

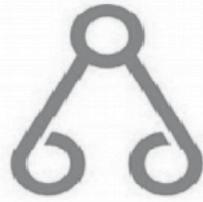
福島営業所: TEL 024-961-7211㈹ FAX 024-961-7221

仙台営業所: TEL 022-287-6273㈹ FAX 022-287-6218

千葉営業所: TEL 043-288-6486㈹ FAX 043-288-6396

# 魔法のバンド――

三輪式モビリティートレーニングバンド



# モビバン

バンド一つであらゆる運動・引き締め・ストレッチが可能。  
こんな便利なバンド見たことない!!

## 5大特長

持ち運びが便利



手足にはめで伸ばす  
だけと簡単手軽

ストレッチ  
エクササイズ

3万回耐久、  
伸縮性テストクリア

三つ輪だから  
負荷を変えられる



ウエストのくびれ



ヒップアップ



背中引き締め



肩こり解消



バストアップ



二の腕引き締め



肩甲骨柔軟



肩インナー強化



体幹強化



股関節強化



ストレッチ



股関節柔軟



硬さ  
ふつう

定価  
¥2,200(¥2,310)



硬さ  
やわめ

定価  
¥1,900(¥1,995)

**Athlete** アスリート専用バンドが登場  
ライバルに差をつける!!

輪が大きくて下半身にも使いやすいモデル

ランニング＆サッカー専用

品番:MB002 カラー:グリーン

長さ:約140cm 幅:約1.5cm

重さ:約100g

メーカー希望小売価格:税込¥2,200

販売価格:税込¥2,310

2007-05-01 12:00:00

ベースボール専用

品番:MB003 カラー:グリーン

長さ:約120cm 幅:約1.5cm

重さ:約80g

メーカー希望小売価格:税込¥2,200

販売価格:税込¥2,310

2007-05-01 12:00:00

バスケット＆ハンド専用

品番:MB001 カラー:グリーン

長さ:約120cm 幅:約1.5cm

重さ:約80g

メーカー希望小売価格:税込¥2,200

販売価格:税込¥2,310

2007-05-01 12:00:00

医療機器・医薬品・福祉用具・開業支援



**GROWBER**  
株式会社 グローバー

〒981-8002 仙台市泉区南光台南2丁目17-8

TEL 022(781)7388 FAX 022(781)7389

URL <http://growber-medical.com> E-mail [growber@nifty.com](mailto:growber@nifty.com)

# 開業・機械入替の予算で お困りの方は、ご連絡下さい！



総合医療商社

**(P)** 日本プロジェクト株式会社

本 社

〒371-0855 群馬県前橋市問屋町2-11-15  
TEL 027-253-5818 FAX 027-253-5817

仙台営業所

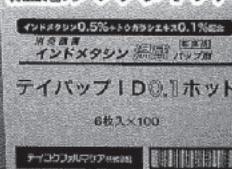
〒984-0838 宮城県仙台市若林区上飯田2-4-6  
TEL 022-282-0944 FAX 022-282-0972

## 外用非ステロイド性消炎鎮痛剤

# インドメタシン含有製剤 ラインアップ

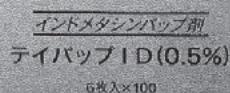
打撲や肩こりなどが起こると、体内にプロスタグランジン類という「炎症反応増強物質」が発生し、痛みを何倍にも増幅します。インドメタシンの仕事は、プロスタグランジンなどの「炎症反応増強物質」の発生を抑え痛みを緩和します。

### ティバップ ID(0.5%) (冷感シップタイプ)

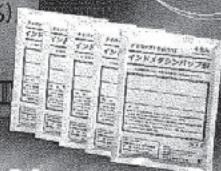


インドメタシン  
(0.5%) + トウガラシエキス  
(0.1%)

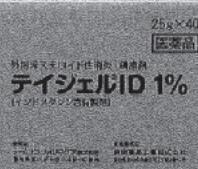
### ティバップ ID(0.5%) (冷感シップタイプ)



有効成分  
インドメタシン  
(0.5%)配合  
痛みのもとに  
直接浸透

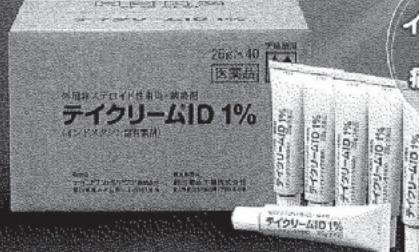


### ティジェルID 1%



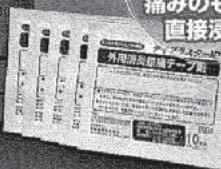
有効成分  
インドメタシン  
(1%)配合  
痛みのもとに  
直接浸透

### ティクリームID 1%



有効成分  
インドメタシン  
(1%)配合  
痛みのもとに  
直接浸透

### ティプラスターID (プラススタータイプ)



有効成分  
インドメタシン  
(3.75%)配合  
痛みのもとに  
直接浸透

インドメタシン含有製剤は「第2類医薬品」に分類されます。

### インドメタシンの使い分け

#### ●急性期の炎症が強い患者さん向け

- ①ティバップID(水分の含有が多く、冷却効果が強い)
- ②ティジェルID 1%(エタノール含有で、清涼感が強い)

#### ●慢性化した炎症の患者さん向け

- ①ティバップID 0.1ホット  
(トウガラシエキス含有で血行を良くする)
- ②ティクリームID 1% (伸びの良い基材使用)

### お問い合わせ先

#### 株式会社 パールシャープ仙台

〒983-0838

仙台市宮城野区二の森12番52号  
電話番号 022-291-2366



東洋製薬グループ  
ティコクファルマケア株式会社  
香川県東かがわ市木松567番地  
[www.teikoku-pc.co.jp](http://www.teikoku-pc.co.jp)

# ダイヤ工業では コレセット・サポーターを 取り扱っています!



先生と一緒に  
コレセット・サポーターを  
安心して選べます!



背筋痛用なら  
どれがいいかある  
お腹痛くない  
コレセットが  
欲しい!  
先生と一緒に  
自分の中にあった  
コレセット  
選びができる。



あなたに  
オススメは…  
コレセットが  
欲しい!  
合わせた  
コレセットを  
安心して選べる。  
先生と一緒に  
コレセットを  
選びや状態に

商品のご要望・ご質問はダイヤ工業までお気軽にどうぞ

**bonbone**

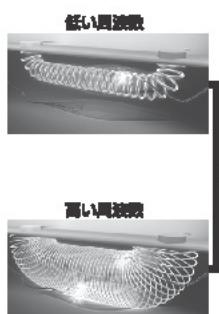
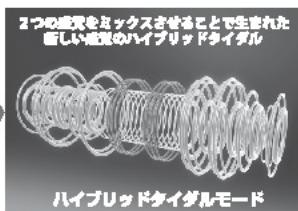
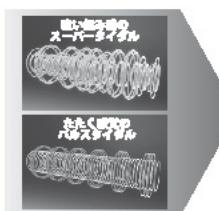
TEL 0120-01-1245 FAX 0120-02-1246

やさしさで、医療を科学する…

**MINATO**

## Hybrid Tidal

スーパー・タイダルとパルス・タイダルを組み合わせた、2面で治療を行うモードです。



低周波治療器

## POLARISKINE PO-Bi • PO-S

NEW

ボラリスカイン



## AQUATIZER WATER MASSAGE BED QZ-240

ウォーターマッサージベッド アクアタイザー

アクアタイザーのラインアップに  
2+2ノズルと足部エアバッグを搭載した  
ハイグレード機種が誕生



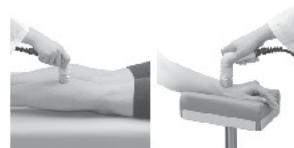
## アクアタイザーQZ-240が グッドデザイン賞を受賞!

受賞機器仕様:  
アクアタイザー QZ-240  
登録番号: 224ABZ0005000

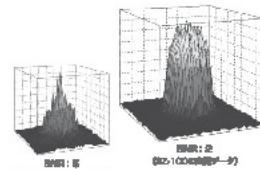
受賞機器仕様:  
アクアタイザー QZ-240B  
登録番号: 224ABZ0005000

**GOOD  
DESIGN**

## 超音波治療器 SONICTIZER ソニックタイサー SZ-100



トップクラスのBNR



超音波放射を目で確認できる  
イルミネーション



ミナト医科学株式会社

本社/〒532-0025 大阪府大阪市淀川区新北町3丁目13番11号 TEL 06(6303)7161 FAX 06(6303)9785  
営業所/札幌・仙台・福岡・東京・名古屋・横浜・新潟・金沢・福井・名古屋・京都市・大阪・神戸・広島・高松  
北九州・福岡・鹿児島

URL <http://www.minato-med.co.jp/>

MINATO MEDICAL SCIENCE CO., LTD.

# OAシステムシャープ レセプトヘルパー Part.6

柔道整復師保険請求システム



日々の領収証発行はどうされていますか？



レセプトヘルパーなら大丈夫!! 窓口入力から  
レシート型、普通紙型で印刷が出来ます。  
※レシートプリンターはオプションです。

## 窓口入力

全ての業務は窓口入力から始まる

- ◆保険証内容の確認が窓口入力で可能。
- ◆来院状況を2ヶ月間表示。
- ◆日々の集計はもちろん、月の集計も出来ます。
- ◆簡易レジ入力で会計処理も簡単。
- ◆レシートプリンターで領収証の自動発行が可能。領収証の発行管理が出来ます。(日ごと、月ごと、年ごと)
- ◆受付管理で来院の順番やその日の予約患者を画面上で確認が出来ます。

- ◆労災自賠責、自由診療を含む全ての患者登録が可能です。
- ◆保険証、施術入力の簡易登録が出来ます。
- 例えは、時間がない場合でも保険証、施術の必要最低限の項目で入力が可能。領収証も素早く印刷出来ます。

- ◆保険外の料金も入力が可能。
- ◆レシートタイプの領収証発行が出来ます。(レシートプリンターはオプションです)
- ◆明細付領収証の印刷も可能です。



ここ最近、患者さんへの調査票が  
増えていますか？



レセプトヘルパーなら大丈夫!! 施術状況説明書  
で保険者等から問い合わせも対応が可能です。

## 来院状況説明書

患者さんとのコミュニケーションツール

- ◆保険診療を明確にする事により自由診療との区別もつけやすくなります。

- ◆様々な条件を設定することが可能。
- 例えは、組合保険向けに一覧から一斉に連続印刷もできます。

## 主な機能

- 各種証明書発行・施術証明、情報提供書、通院証明、学校安全会
- 請求内容チェックリスト・レセプト印刷前に入力漏れや間違いを一括チェック
- 患者分析機能・性別、年代、地域に加え、曜日別、負傷別平均日数を分析。

その他多数の機能を兼ね備えております。

株式会社 OA システムシャープ  
東京都中野区新井 2-6-5 DSK 情報センタービル 3F  
TEL/FAX 03-5343-2531 / 03-5343-2532  
mail : info@oasharp.co.jp

# 宮城県「柔道整復学」構築学会 投稿・発表規定

2008年(平成20年)11月8日制定

## 1. 投稿・発表について

本学会への投稿及び発表は、原則として宮城県「柔道整復学」構築学会の会員に限るが、特に本会に寄与する論文と判断され、本会の会員が1名以上の共著者となっていれば会員外の投稿及び発表も受理します。

以下の6つのポイント(約束事、常識)をふまえて、しかも積極的に、気軽にどうぞ公にして下さい。

1997年(平成9年)、第6回日本柔道整復接骨医学会総会時の、金城 孝治会長の講演にありました言葉、「職域拡大には・・・医療知識と技術の向上によってのみ可能である」は、今こそむしろ大切かと思います。

## 2. ケースレポートの仕方

① ケースレポートをする意義は：

- i) 非常にめずらしい(レア rare)疾患の場合
- ii) めずらしい疾患ではないが、特異な経過・転帰をたどったケース
- iii) 治療・施術への反応が独特であったケース
- iv) 新治療法・技術の開発・試行・実験治療を行ってみた場合の効果
- v) 非常に、取り扱いや施術・治療・リハビリに苦慮したケース

② どこの誰であるかが推定できそうな表現は絶対不可(個人情報保護)です。

症例1、症例2などとします。

③ この場合も、症例のデータ(写真など)について、自分(達)のものでない場合には、借用先を明記して下さい。

④ 症例報告の仕方

- タイトル
- (Key Words)
- (要旨)
- はじめに
- 症例
- 所見
- 処置・療法と経過
- 考察
- おわりに
- 文献

例) 佐藤達夫：リハビリテーション解剖アトラス，P166，医歯薬出版，2006

## 3. データのまとめ方

① X線、MRI、その他全てのデータについて、自分(達)が採取したものでない場合には、借用先を明記して下さい。(著作権の問題)

- ② データの計数が1ケタ(5例、8例など)の場合に、安易に平均値(代表値の1つ)を出しますと片寄った値になることがあります。その場合には中央値の方が妥当です。
- ③ 各症例について、誰であるか見当がつきそうな表現はなさらないように(個人情報保護)して下さい。表記は、例えば症例1、症例YZなど。

#### 4. 発表要旨(抄録)の書き方

- ① 5W1H (whenいつ、whereどこで、who誰が、what何を、whyどんな目的で、howどのように)が分かるように書いて下さい。
- ② <目的><方法><結果><考察><結論>の順に、要領よく短くまとめます。<結果>には、得られた事実のみを書きます。
- ③ 文章は全て「～であった」「～となった」の、ある調、過去形となります。
- ④ 発表者としての主語を入れる必要がある場合には、「われわれは～」「演者らは～」などと書きます。
- ⑤ 原稿は、パソコンのワープロソフトなどで作成し、A4版用紙に横書きとします。手書原稿は採用しません。

#### 5. 執筆要綱

##### 投稿論文の種類と内容説明

- 原著論文 : 新規かつオリジナルであることが構築研究委員会において認められたものです。  
内容が新しい情報、理論の提示を通して独創性を主張できるものです。  
明確な研究結果として一定の結論が得られたものです。
- 症例報告 : 症例の臨床経験に基づいた研究をおこなって考察が得られたものです。
- 研究資料 : 柔道整復、あるいはそれに関連した資料を主とした情報を提示したものです。
- 短 報 : 内容は原著に近いが短く結論の速報として書いたものです。
- 治療技術 : 客観的情報を示し、オリジナル性の高いものです。
- その 他 : 柔道整復に関する多方面からの記事を含み、会員の質的向上に貢献できるものです。

#### 6. 論文の構成

- 表 題 : 内容を具体的に表し、かつ簡潔な表現とします。  
用語には、キーワードを含むように工夫して下さい。
- 著 者 名 : 著者は本研究に寄与するところの大きい人のみとします。  
研究の協力者は謝辞の中で記載して下さい。
- 要 旨 : 目的、方法、結果、結論を簡潔に記載して下さい。
- キーワード : 主に主題および要旨から選び、論文の内容を最も適切に表す言葉とします。
- 本 文 : 1)はじめに(序文、まえがき、緒言)  
本研究の背景、経緯、意義などを述べる導入部分。  
これまでの研究との関連性を記載します。
- 2)対象および方法  
用いた理論、条件、材料、方法、手順などを記載します。  
特に、方法は関連研究者が追試できる内容とします。



### 3) 結果

実験結果、データ紹介、明らかとなった関連性、観察結果、効果などを記載します。

### 4) 考察

結果の分析と検討、結果の比較と評価、問題提起、今後の課題、示唆などを記載します。

### 5) 結論(まとめ、結語)

本研究の結果内容を簡潔に記載します。

図・写真・表 : 本文に示した順に掲載し、その図表の番号や説明は図では下に、表では上につけて下さい。

その他 : 原稿には一連のページ数を記載して下さい。

## 7. 発表の仕方

① パワーポイント、スライドなど、視聴覚メディアをうまくお使い下さい。

② 発表時間の厳守

例) 8分間→400字詰原稿用紙8~9枚

10分間→400字詰原稿用紙10~11枚です。

③ 慣れていない方は、必ず発表用の下書き原稿を②に合わせて書くことをお勧めします。ルーズに進めると、必ず結論へ行かない前に終わってしまいます。

④ ここでも5W1Hを要領よく入れて下さい。

## 8. 提出

発表原稿、発表時使用データの提出は、所定の期日までに刷り上り（プリント）1部に、原稿のファイルを書き込んだ電子媒体（フロッピーディスク、CD-R、USBなど）を添えて、事務局宛に送付して下さい。

又は、E-mailで事務局宛にファイルを直送して頂いても構いません。

但し、使用ソフトやファイル形式については、事前に受理可能かどうか事務局に確認して下さい。

投稿原稿、発表時使用データ及び記録媒体は返却しません。

## 9. 校正

校正是著者が責任を持って行い、校正後の原稿、データを投稿して下さい。

## 10. 送付先

「学会誌原稿、発表データ」と朱書して、下記に送付下さい。

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉二丁目9番8号

公益社団法人宮城県柔道整復師会 内

宮城県「柔道整復学」構築研究委員会 事務局

TEL: 022-262-9181 FAX: 022-262-4181

E-mail: mjs@mjs.or.jp

## 編／集／後／記

早いもので広報部員として一年が経ちました。

月に第一子が誕生し、何かとせわしないことが多くなりそうですが、父親として、柔道整復師として、原点を忘ることなく物事に挑戦していくきたいと思う次第です。

(広報部　日黒　喜浩)

先月、二十一・二十二日と茂庭荘において、柔道整復師の原点をみつめてと題し、第六回宮城県「柔道整復学」構築学会が開催され、数多くの先生方が出席されました。白木原クリニック院長白木原憲明先生の講演では腰痛診察の鑑別がいかに重要か、重大疾患を見落としているのではないかと、気持ちを新たにした所であります。

さて先日、SVM地域代表者会議において、各地域の先生方との親睦を深めるため、保険部長を交えて会合等を開催しようと話し合いました。その際には多くの先生方の出席をお待ちしております。

最後に私事になりますが、今年一



公益社団法人 宮城県柔道整復師会

# 宮 整 広 報 No.95

平成26年7月31日

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉二丁目9番8号

TEL 022(262)9181 FAX 022(262)4181

Home Page <http://www.mjs.or.jp>

発行者

会長 櫻田 裕

印刷所 (資)芳賀美術印刷

編 集

広報部担当理事

〒980-0003

広報部員

主任 枝村正実

宮城県仙台市青葉区小田原七丁目7番13号

委員 佐藤浩一　日黒喜浩

TEL 022(222)4225(代)

FAX 022(222)4228

